

「伊万里市人権教育・啓発に関する基本方針」
推進計画に係る具体的施策の推進状況

令和4年度の実績評価

伊万里市人権教育・啓発推進本部

■ 目 次

1	分野別施策の実績評価集計表	1 頁
2	課別施策の実績評価集計表	2 頁
3	個別評価	
①	同和問題	3 頁
②	女性に関する問題	7 頁
③	子どもに関する問題	17 頁
④	高齢者に関する問題	24 頁
⑤	障害のある人に関する問題	27 頁
⑥	外国人に関する問題	33 頁
⑦	患者等に関する問題	35 頁
⑧	犯罪被害者等に関する問題	36 頁
⑨	性的指向・性自認に関する人権問題	37 頁
⑩	インターネットによる人権侵害	37 頁
⑪	人権に関する様々な問題	38 頁
⑫	あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	39 頁
⑬	特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	46 頁
⑭	効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	48 頁
⑮	本市における計画の推進	54 頁

■ 評価ランク

ランク	説明（実現の度合い）
A 1	達成度80%以上（ほとんど達成している～完全に達成した）
A 2	達成度50%～80%未満（まだ不十分～もう少しで達成の域に入る）
A 3	達成度50%未満（実施したばかり～まだ不十分）
B	これから実施する
C	これから計画する
D	業務等を実施する対象年度ではなかった
E	計画または実施していたが、見直しにより削除する

※実施率・・・全体におけるA 1、A 2、A 3の合計の割合

※達成率・・・全体におけるA 1の割合

1 分野別施策の実績評価集計表

令和4年度実績

評価ランク	A1	A2	A3	B	C	D	E	計	実施率 (%)	達成率 (%)
基準説明	達成80%以上	達成50~80%未満	達成50%未満	これから実施	これから計画	実施の対象年度外	削除			
① 同和問題	21	11	1	0	0	2	0	35	94.3	60.0
② 女性に関する問題	45	12	3	0	0	1	1	62	96.8	72.6
③ 子どもに関する問題	40	5	4	0	0	0	1	50	98.0	80.0
④ 高齢者に関する問題	18	3	6	0	0	0	0	27	100.0	66.7
⑤ 障害のある人に関する問題	25	6	2	0	0	6	0	39	84.6	64.1
⑥ 外国人に関する問題	13	0	0	1	0	0	0	14	92.9	92.9
⑦ 患者等に関する問題	10	4	0	0	0	0	1	15	93.3	66.7
⑧ 犯罪被害者等に関する問題	3	3	0	0	0	0	0	6	100.0	50.0
⑨ 性的指向・性自認に関する人権問題	1	2	0	0	0	0	0	3	100.0	33.3
⑩ インターネットによる人権侵害	3	1	0	1	0	0	0	5	80.0	60.0
⑪ 人権に関する様々な問題	4	6	1	0	0	0	0	11	100.0	36.4
⑫ あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	35	19	4	0	0	2	0	60	96.7	58.3
⑬ 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	4	2	3	1	0	0	0	10	90.0	40.0
⑭ 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	37	11	2	0	0	0	0	50	100.0	74.0
⑮ 本市における計画の推進	5	2	1	0	0	0	0	8	100.0	62.5
合計	264	87	27	3	0	11	3	395	95.7	66.8

2 課別施策の実績評価集計表

令和4年度実績

評価ランク	A1	A2	A3	B	C	D	E	計	実施率 (%)	達成率 (%)
基準説明	達成80%以上	達成50～80%未満	達成50%未満	これから実施	これから計画	実施の対象年度外	削除			
総務課	3	0	0	0	0	0	0	3	100.0	100.0
防災危機管理課	3	0	0	0	0	0	0	3	100.0	100.0
企画政策課	21	6	0	0	0	1	1	29	93.1	72.4
情報政策課	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0
企業誘致・商工振興課	1	2	0	0	0	0	0	3	100.0	33.3
シティプロモーション推進課	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0
まちづくり課	12	1	0	1	0	0	0	14	92.9	85.7
人権・同和対策課	18	22	2	1	0	2	0	45	93.3	40.0
隣保館	5	1	0	0	0	0	0	6	100.0	83.3
環境政策課	4	0	0	0	0	0	0	4	100.0	100.0
長寿社会課	15	2	1	0	0	0	0	18	100.0	83.3
健康づくり課	20	3	0	1	0	0	2	26	88.5	76.9
福祉課	15	2	1	0	0	1	0	19	94.7	78.9
子育て支援課	20	1	0	0	0	0	0	21	100.0	95.2
農業振興課	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0
道路河川課	0	3	0	0	0	5	0	8	37.5	0.0
都市政策課	0	0	2	0	0	0	0	2	100.0	0.0
施設営繕課	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0
農業委員会	1	0	1	0	0	0	0	2	100.0	50.0
教育総務課	2	0	0	0	0	0	0	2	100.0	100.0
学校教育課	53	2	8	0	0	0	0	63	100.0	84.1
生涯学習課	59	39	12	0	0	2	0	112	98.2	52.7
同和教育集会所	4	0	0	0	0	0	0	4	100.0	100.0
市民図書館	2	1	0	0	0	0	0	3	100.0	66.7
スポーツ課	1	2	0	0	0	0	0	3	100.0	33.3
複数の課に関する項目	1	0	0	0	0	0	0	1	100.0	100.0
合計	264	87	27	3	0	11	3	395	95.7	66.8

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
1	1 同和問題	(1)学校教育における人権・同和教育の推進		学校教育課	児童生徒の人権・同和教育の充実	A1	A1	→	全小・中学校において、年間計画をもとに児童・生徒の発達段階に応じた授業実践や全職員による研修会を実施した。	継続して実施する。
2	1 同和問題	(1)学校教育における人権・同和教育の推進		学校教育課	教職員の各種人権・同和教育研修会への参加	A1	A1	→	全小・中学校において、年間計画をもとに児童・生徒の発達段階に応じた授業実践や全職員による研修会を実施した。	継続して実施する。
3	1 同和問題	(1)学校教育における人権・同和教育の推進		学校教育課	人権総合学習講座等の開設	A2	A2	→	新型コロナウイルス感染症による研修会の縮減。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
4	1 同和問題	(1)学校教育における人権・同和教育の推進		学校教育課	生徒の進路相談の実施	A1	A1	→	キャリア教育の充実を図り、本人の興味関心や適正に応じた進路指導を実施している。	継続して実施する。
5	1 同和問題	(2)社会教育における人権・同和教育の推進		生涯学習課	地区巡回講座、なるほど！ザ・じんけんゼミナール、輝く女性のための心のセミナーの実施	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、平常時に比べ小規模実施に留まった。 ・地区巡回講座 31回 ・なるほど！ザ・じんけんゼミナール 2回	開催予定回数は平常時並みであり、感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み
6	1 同和問題	(2)社会教育における人権・同和教育の推進		生涯学習課	小・中学校PTAにおける研修会の開催	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、平常時に比べ小規模実施に留まった。 ・単位PTA、育友会 12回 ・市連リーダー研修 2回	開催予定回数は平常時並みであり、感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
7	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓発	人権・同和对策課	リーフレットなど啓発資料の作成、配付	A1	A1	→	法務局や県が作成したリーフレット等を人権週間に実施したパネル展等にて配布するとともに、各コミュニティセンターにも配布して啓発を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
8	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	人権・同和对策課	同和問題啓発強調月間(8月)に市庁 舎等への懸垂幕、のぼり旗の掲示、公 用車へのマグネットステッカー貼付	A1	A1	→	8月の同和問題啓発強調 月間及び12月の人権週 間期間中に懸垂幕(市庁 舎)とのぼり旗(市庁舎、 コミュニティーセンター、 市民センター、隣保館、 同和教育集会所、西肥バ ス伊万里営業所)を掲揚 した。同和問題啓発強調 月間には公用車67台、い まりんバス1台に啓発ス テッカーを貼付し、伊万里 駅ペDESTリアンデッキに 横断幕を掲示した。	継続して実施する。
9	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	人権・同和对策課	同和問題講演会、啓発パネル展の開催 支援	A2	A1	↑	8月に平成30年度以来と なる同和問題講演会の開 催を支援した。8月の同和 問題啓発強調月間及び 12月の人権週間にあわ せて、市民ロビーや市民 図書館でパネル展を実施 し、市民への啓発を行っ た。	同和問題講演会の開催 支援及びパネル展の開 催を継続する。
10	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	生涯学習課	民生委員・児童委員協議会、老人クラ ブへの啓発	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、 平常時に比べ小規模実 施に留まった。 ・民生委員・児童協議会 4件	開催予定回数は平常時 並みであり、感染症が収 束すればA1評価に復帰 する見込み。
11	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	生涯学習課	市広報紙、公民館報による啓発 (みんなで考えよう人権・同和問題)	A1	A1	→	広報伊万里に計画的に 啓発記事を掲載した。 ・年間 8回	継続して実施する。
12	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	生涯学習課	ケーブルテレビ等のマスメディアを活用 した啓発	A1	A1	→	職員出演・制作のオリジ ナル啓発動画をケーブル テレビで放送した。 ・年間 2回	継続して実施する。
13	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓 発	生涯学習課	同和問題啓発強調月間(8月)に同和 問題講演会を開催	A2	A1	↑	感染症対策や人数制限 を行い8月30日に実施し た。 参加者160人	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
14	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓発	生涯学習課	同和問題啓発強調月間(8月)に公民館、生涯学習センターにおけるのぼり旗の掲示、公用車へのマグネットステッカーの貼付	A1	A1	→	公民館、生涯学習センターにのぼり旗を掲示するとともに、公用車にマグネットステッカーを貼付し啓発を行った。	継続して実施する。
15	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓発	生涯学習課	街頭キャンペーンの実施支援 主催イベントでの啓発	A3	A2	↑	同和問題講演会で人権標語入りオリジナル啓発グッズを配付し、会場入口にスクリーンを設置し啓発動画「じんけんかわらばん」を上映した。	継続して実施する。
16	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	①市民への啓発	市民図書館	同和問題をはじめとする人権に関する書籍の設置による啓発	A1	A1	→	展示コーナー利用2回(計20日間)、人権・同和教育関係資料数1,416冊(新規購入31冊、寄贈・移管13冊)	企画展示室での展示と図書の展示を組み合わせるなどして、啓発の回数を増やしていく。
17	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	②企業等などへの啓発	生涯学習課	伊万里・西松浦地区の企業で構成する「公正採用選考人権啓発推進協議会」活動支援	A2	A2	→	感染症が及ぼす企業活動への影響に配慮し、平常時に行っているDM送付等の主体的な研修実施へ向けた営業支援は見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
18	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	②企業等などへの啓発	生涯学習課	企業トップクラス研修による教育・啓発	A2	A1	↑	県労働局との協働で企業トップクラスに対する研修講座を実施した。 年2回	継続して実施する。
19	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	②企業等などへの啓発	生涯学習課	市内の事業所、団体、施設に指導員を派遣し実施	A2	A2	→	市委託業者を対象に指導員を派遣し研修を実施した。 ・企業研修 1件	継続して実施する。
20	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	②企業等などへの啓発	生涯学習課	企業職場研修の充実と指導者の育成 伊万里西松浦地区公正採用選考人権啓発推進協議会活動の支援	A3	A3	→	伊万里西松浦公正採用選考人権啓発推進協議会との協働で企業人事担当者を対象とした研修を行う予定であったが、感染症拡大防止のため中止となった。	感染症が収束すればA2評価に復帰する見込み。
21	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	③えせ同和行為に関する啓発の充実	人権・同和对策課	市広報紙およびホームページ*への掲載	A2	A2	→	広報(3月号)やホームページで、えせ同和行為の注意喚起を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
22	1 同和問題	(3)啓発活動の推進	③えせ同和行為に関する啓発の充実	生涯学習課	なるほど！ザ・じんけんゼミナールや地区巡回講座等で実施	A1	A1	→	えせ同和行為については、地区巡回講座等を通じて啓発を行った。	継続して実施する。
23	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		隣保館	人権総合学習講座、解放学級の開催	A1	A1	→	○もみの木学級回数：102回(小学校61回、中学校41回) 参加者数：938人	継続して実施する。
24	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		隣保館	文化活動などをとおした、住民グループの育成	A3	A1	↑	○映画上映会 対象：制限なし 期日：毎月1回 実施回数：11回 参加者数：103人	地域住民の高齢化を考慮したイベントの企画内容を検討する必要がある。
25	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		隣保館	ワイワイキャンプ事業や学校間交流事業による地域交流事業の促進	A3	A2	↑	○大川町夏休みワイワイキャンプ 新型コロナ感染拡大防止のため中止。 ○大川・松浦小学校6年生交流事業 児童：37名、保護者：8名、指導者：20名	ワイワイキャンプについては、新型コロナウイルス感染症の状況を見極め開催に向け協議する。 6年生交流事業については、継続して実施する。
26	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		隣保館	同和問題に対する理解を深めるための活動の推進	A1	A1	→	○隣保館の貸館、各種事業の開催 回数：291回 利用者・参加者：2,453人	継続して実施する。
27	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		同和教育集会所	市民を対象とした学習会の開催	A2	A1	↑	地域交流事業「料理教室」「粘土教室」において、指導員による日常の視点に軸足を置いた啓発を展開した。 ・粘土教室 年12回	継続して実施する。
28	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		同和教育集会所	料理教室、粘土教室等の実施による地域交流の促進	A2	A1	↑	「料理教室」や「粘土教室」を通じて地域交流を促進した。 ・粘土教室 年12回 ・料理教室 年6回	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
29	1 同和問題	(4)隣保館、同和教育集会所の事業推進		同和教育集会所	同和問題に対する理解を深めるための活動促進	A2	A1	↑	地域交流事業「料理教室」「粘土教室」において、指導員による日常の視点に軸足を置いた啓発を展開した。 ・粘土教室 年12回 ・料理教室 年6回	継続して実施する。
30	1 同和問題	(5)相談体制の充実		隣保館	住民の各種相談(健康相談・年金相談・悩み事相談など)	A1	A1	→	○生活・健康・教育相談等受付 件数:73件 相談者:74人	継続して実施する。
31	1 同和問題	(5)相談体制の充実		同和教育集会所	住民の各種相談(健康相談・年金相談・悩み事相談など)	A1	A1	→	地域住民からの生活全般に関する各種相談に対応している。	継続して実施する。
32	1 同和問題	(6)現状を把握するための調査の取組		生涯学習課	市民意識調査の定期的実施(1回/5年)	D	D		令和2年度に実施、次回は令和7年度の予定。	
33	1 同和問題	(6)現状を把握するための調査の取組		人権・同和対策課	国・県が行う実態調査への協力	D	D		国・県が行う実態調査への協力依頼はなかった。	国・県が行う実態調査への協力依頼があれば協力する。
34	1 同和問題	(7)その他		人権・同和対策課	部落差別撤廃・人権擁護審議会の開催および先進地視察(隔年)の実施	A1	A2	↓	8月29日に部落差別の解消の推進及び人権擁護審議会を開催した。先進地視察については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	継続して実施する。
35	1 同和問題	(7)その他		道路河川課	側溝蓋及び路面の傷の補修、法面の草刈り、ガードパイプ設置及び局部改修	A2	A2	→	側溝蓋設置(13箇所)、舗装補修(19箇所)、道路法面の草刈り、ガードパイプ(225m)の設置を行った。	道路の修繕等の箇所が多いが達成度が前年度を下回らないようにする。
36	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	市広報紙による啓発	A1	A1	→	・「広報伊万里」による啓発(6月・8月・10月・12月号) ・男性育休の特集記事掲載(3月号) ・DV相談窓口の周知(11月号)	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
37	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	「ブラザだより」や啓発冊子などによる意識の改革促進	A1	A1	→	・「ブラザだより」を班回覧で全戸に啓発(9月・3月) ・フォーラムや講座等の参加者に啓発冊子を配布(4回) ・家事シェアガイド「わたしの家の家事シェア」配布による啓発	継続して実施する。
38	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	市のホームページに男女協働参画基本計画、条例等を掲載	A1	A1	→	第5次伊万里市男女協働参画基本計画を策定し、市ホームページへ掲載	継続して実施する。
39	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	講演会やフォーラム等の開催	A1	A1	→	・フォーラムやセミナー、出前講座等の開催(8回)	継続して実施する。
40	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	男女の性にとどまらず、人権が尊重されるよう、偏見や差別の是正について、各種団体への要請	B	E		性差のある出不足金は、地域の現状から現時点での見直しが難しく改善できない地区がある。	地域の世帯構成の違いがあるため、「第5次男女協働参画基本計画」から削除した。
41	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	企画政策課	一般家庭への性による固定的意識の解消に向けての啓発	A2	A2	→	・フォーラムやセミナー、出前講座等の開催(8回) ・「広報伊万里」による啓発(6月・8月・10月・12月) ・「ブラザだより」による啓発(2回) ・図書館で啓発パネル展示(6月、11月) ・家事シェアガイド「わたしの家の家事シェア」配布による啓発	継続して実施する。
42	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	学校教育課	幼稚園や小・中学校での学級活動の時間や日常生活指導の中で性の性による固定的意識の解消に向けての啓発活動の実施	A1	A1	→	幼稚園や小中学校での学級活動や日常生活指導の中で、固定的意識の解消を図り、男女平等教育・学習の推進を図った。	継続して実施する。
43	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	生涯学習課	市広報紙による啓発	A1	A1	→	広報伊万里「みんなで考えよう人権・同和問題シリーズ」で啓発記事を掲載した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
44	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	①社会的慣習の見直しを図る啓発活動の推進	生涯学習課	同和問題講演会の開催	A2	A2	→	感染症対策及び人数制限を行い実施した。 参加人数160人	継続して実施する。
45	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	総務課	市職員に対する男女平等意識の醸成のための啓発の推進、市職員のセクシャル・ハラスメントに対する苦情相談窓口、相談員の設置	A1	A1	→	「セクハラ・パワハラ防止要綱」に基づき、苦情相談窓口8か所に相談員14人を設置するとともに、相談員の研修を実施した。	継続して実施する。
46	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	企画政策課	セクシュアル・ハラスメント、女性への暴力、性犯罪など、女性に対する人権侵害の実態把握と相談業務の充実	A2	A1	↑	・女性相談案内リーフレットを市役所、市関連施設、市内店舗等の女性用トイレに常時備え啓発 ・専門相談員として女性自立支援相談員を配置し、電話相談、面接相談に対応 ・DV相談について、関係課と連携しワンストップ窓口および共通マニュアルの運用により対応	リーフレット設置数が把握できていないため今後調査を行う。
47	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	企画政策課	男女協働参画の視点を取り入れた学習会や講演会などの開催による正しい人権意識の啓発	A1	A1	→	・フォーラムやセミナー、出前講座の開催(8回) ・いまり女性ネットワーク研修会の開催(1回)	継続して実施する。
48	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	企画政策課	男女平等の意識を育む各種セミナー、学習会等の開催	A1	A1	→	・フォーラムやセミナー、出前講座の開催(8回) ・いまり女性ネットワーク研修会の開催(1回)	継続して実施する。
49	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	企画政策課	出前講座や啓発冊子・チラシ等による男女協働参画意識の啓発	A1	A1	→	・「プラザだより」による啓発(2回) フォーラムや講座等の参加者に啓発冊子を配布(4回) ・家事シェアガイド「わたしの家の家事シェア」配布による啓発	継続して実施する。
50	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	健康づくり課	育児等への男性の積極的な参加促進のため、妊婦わくわくクラブや思春期における保健福祉体験学習事業の実施	A2	A2	→	・妊婦わくわくクラブ開催回数4回 参加者数53人	開催回数を増やし、少人数の予約制で実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
51	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	子育て支援課	男性の育児参加のための事業の実施	A1	A1	→	保育園の清掃作業、各種行事の父親の参加を促した。子育て支援センターぽっぽにおいては、「いまりパパネットワーク」を中心にパパ広場やパパ講座を実施した。パパ広場：6回開催、38組、子延50名、計88名参加。パパ講座に関しては月に一度開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため10月からの開催となった。	継続して実施する。
52	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	子育て支援課	保育園での男女平等教育・学習の推進	A1	A1	→	かけっこで男女分けではないチームを作ったり、当番活動など男女ペアなど固定することなく順番にしたりしている。	継続して実施する。
53	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	学校教育課	幼稚園や小・中学校での学級活動の時間や日常生活指導の中で男女平等教育・学習の推進	A1	A1	→	幼稚園や小中学校での学級活動や日常生活指導の中で、固定的意識の解消を図り、男女平等教育・学習の推進を図った。	継続して実施する。
54	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	学校教育課	学習指導要領にのった男女混合名簿の普及促進、技術・家庭科や体育科における男女混合授業の実施	A1	A1	→	市内全学校、男女混合名簿の作成ができた。また、技術・家庭科や保健体育科における男女混合授業を実施している。	継続して実施する。
55	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	学校教育課	男女別役割分業の意識にとらわれない進路指導(進路指導主事研修会の実施)	A1	A1	→	職場体験学習等を参考とし、男女別役割分業の意識にとらわれず、本人の興味関心や適正に応じた進路指導を実施している。	継続して実施する。
56	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	学校教育課	校長研修会、教頭研修会、教務主任研修会における男女平等研修の推進	A1	A1	→	校長・園長研修会、教頭・主幹教諭研修会、教務主任研修会等において、教育長や学校教育課長が講話等を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
57	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	学校教育課	人権週間の取組等を学校、学級だよりに掲載	A1	A1	→	各幼稚園、小中学校において、学校、学級だより等で保護者による啓発を行った。	継続して実施する。
58	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	生涯学習課	男女平等の意識を育む各種セミナー、学習会等の開催	A1	A1	→	学習会の開催については、感染症拡大防止のため平常時に比べ小規模に留まったが、職員出演・制作のオリジナル啓発動画「月刊じんけんかわらばん」をYouTubeで配信し啓発を展開した。	継続して実施する。
59	2 女性に関する問題	(1)男女平等意識の醸成	②男女平等の意識を育む教育の推進	生涯学習課	ジェンダーに視点をおいた学習会や講演会の開催による正しい人権意識の啓発	A1	A1	→	学習会の開催については、感染症拡大防止のため平常時に比べ小規模に留まったが、職員出演・制作のオリジナル啓発動画「月刊じんけんかわらばん」をYouTubeで配信し啓発を展開した。	継続して実施する。
60	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	総務課	市職員の職域の拡大	A1	A1	→	総務部57人中14人、総合政策部49人中7人の女性職員を配置した。なお、選任(昇任、昇格を含む)や職域に関して男女間の差はない。	継続して実施する。
61	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	伊万里市男女協働参画推進会議の開催	A1	A1	→	男女協働参画推進会議を開催(2回)、第5次計画に向けたワーキンググループ会議の開催(1回)	継続して実施する。
62	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	男女協働参画懇話会「いまりプラザ」の開催	A1	A1	→	・男女協働参画懇話会「いまりプラザ」を開催(10回) ・学習会を開催(2回) ・他町の研修に参加(1回)	継続して実施する。
63	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	各種審議会・委員会等への女性委員の選任率40%を目指す	A2	A2	→	・令和4年度末は33.5%となり、前年度より2.7%低下	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
64	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	民間企業等への職域の拡大や管理職、女性委員等の積極的な登用についての要請と啓発活動の推進	A2	A2	→	・委員会等への女性委員選任要領に基づき、団体への推薦依頼前の協議書提出を依頼し積極的な選任について要請 ・「いまり女性ネットワーク」会員から各審議会等へ委員を推薦(延36人参画)	継続して実施する。
65	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	男女協働参画懇話会やいまり女性ネットワーク、その他市民団体との連携による「男女協働参画社会」の形成に向けた取り組みの推進	A1	A1	→	男女協働参画懇話会の構成員は、いまり女性ネットワークや他市民団体代表等。月1回定例会を開催し、各団体等との連携により啓発にかかる取組を実施。	継続して実施する。
66	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	男女協働参画懇話会「いまりプラザ」等の施策への提案・提言	A1	A1	→	「男女協働参画条例」制定提言書を市長に提出、平成27年度条例制定、平成28年度4月施行。	継続して実施する。
67	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	「伊万里市男女協働参画基本計画」の進行チェック	A1	A1	→	令和3年度の事業実績・令和4年度の計画を審議会等に報告し、市ホームページへ掲載。	継続して実施する。
68	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	「伊万里市男女協働参画推進会議」の効果的運営	A2	A1	↑	・男女協働参画推進会議の開催(2回)、第5次計画に向けたワーキンググループ会議の開催(1回) ・推進会議幹事会幹事に女性委員を指名し、女性委員の増員を図った。	継続して実施する。
69	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	女性自身の積極性を高めるための啓発の実施	A1	A1	→	・フォーラムやセミナー、出前講座の開催(8回) ・いまり女性ネットワーク研修会の開催(1回)	継続して実施する。
70	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	「いまり女性ネットワーク」の充実と活用	A1	A1	→	・「いまり女性ネットワーク」会員から各審議会等へ委員を推薦(延36人参画)	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
71	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	地域団体のリーダーの育成とネットワークの推進	A2	A2	→	・いまり女性ネットワーク研修会の開催(1回)	継続して実施する。
72	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	男女協働参画に関する調査研究及び情報の提供	A2	A1	↑	・図書館で啓発パネル展示(6月、11月) ・男女協働参画に関するアンケート調査結果について市ホームページへ掲載	継続して実施する。
73	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企画政策課	男女協働参画に関する市民意識調査の定期的実施(1回/5年)	A1	D		市民意識調査(次回は令和8年度実施)	継続して実施する。
74	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	企業誘致・商工振興課	21世紀職業財団等との連携 国、県と連携した広報活動	A2	A2	→	国や県と連携して、労働環境整備に関する制度等の周知について、市広報、市HP、部署窓口へのパンフレットの配置などを行った。	継続して実施する。
75	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	生涯学習課	公民館運営審議会等への女性の参画	A3	A3	→	・中央公民館運営審議会 33.3% ・青少年問題対策連絡協議会 6.6% ・社会教育委員会 40.0% ・文化財保護審議会 44.4%	所管する審議会等において、委員に男女の区別は関係ないものの、審議する上で女性の視点が必要な場合を想定し、女性の専任率向上を図るため、委員推薦依頼文書に女性の推薦に関する文言を入れる。
76	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	①男女協働参画意識の醸成	生涯学習課	女性の活動拠点としての「公民館、生涯学習センター」の機能充実	A2	A2	→	中央公民館(生涯学習センター)の維持管理に努めるとともに、機能充実に努めた。	施設が老朽化しているため、建物の更新について検討を進める。
77	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	企画政策課	女性のリプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する意識啓発	A2	A2	→	女性の健康意識の向上を目的としたフォーラムの開催(1回)	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
78	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	健康づくり課	特定健診・がん検診等の実施	A1	A1	→	・総合健診を13日間実施。 ・毎日健診及び医療機関での大腸がん検診を開始。 ・個別・集団の延受診者数 特定健診3,283人 健康診査30歳代133人 生保77人	特定健診については、情報提供書の提出を促し、受診者数増加につなげる。受診率が低い地域にも未受診者勧奨を実施し、受診率向上を図る。
79	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	健康づくり課	健康づくり推進連絡協議会・健康づくり推進部会の開催	A1	A1	→	健康づくり推進連絡協議会を1回開催	健康づくりプラン及び保健事業計画策定に向けて開催する。
80	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	健康づくり課	健康相談会や各種健康教室の積極的な参加呼びかけ	A2	A1	↑	・健康相談開催回数 370回 延人数 771人 ・健康教育開催回数 258回 延人数 2,606人	健康カレンダーや広報いまり、ちらし等で周知を図っている。今後も継続する。
81	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	健康づくり課	妊婦健康診査及び訪問指導の実施	A1	A1	→	妊婦健康診査は1人最大14回を公費負担により医療機関で実施。受診率84.5%(14回平均)妊婦への訪問は、延べ14人実施	健診を受診し、妊婦と胎児における健康管理を行う必要がある。
82	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	健康づくり課	健康づくり普及推進員、母子保健推進員の活動支援	A2	A1	↑	・健康推進員26名 地区での活動155回 ・母子保健推進員20名 母子保健事業への協力47回	幼児健診への協力人数が増えたため母子保健推進員の活動実績が増えた。
83	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	学校教育課	学校、家庭、地域社会と連携した幼児期からの性教育の推進計画の策定、実施	A1	A1	→	学校、家庭、地域社会と連携した幼児期からの性教育の推進を図った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
84	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	②健康支援の充実	スポーツ課	ママさんバレーボール大会、さわやかスポレク祭等の開催支援	A1	A2	↓	・ママさんナイターバレーボール大会については、新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止 ・ソフトバレーについては、10チーム52名参加 ・伊万里ウォーク 689名エントリー(うち女性 439名) ・伊万里ハーフマラソン:2,057名エントリー(うち女性 369名) コロナの影響でイベント数は減ったが、健康志向の高まりから、一定数の女性の参加があった。	コロナの影響によるイベント中止はやむを得ないが、今後も引き続き、男女を問わずすべての市民が参加できるスポーツイベントを企画・開催する。
85	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	企業誘致・商工振興課	21世紀職業財団等との連携 国、県と連携した広報活動	A1	A1	→	県の子育て世代向け就職支援サイトの周知等を行った。 また、佐賀県労働局と連携し、事業主向けの働き方改革相談コーナーを設置し、男女がともに働きやすい職場づくりを推進した。	継続して実施する。
86	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	農業振興課	女性の地位向上に関する研修会の周知及び参加促進	A1	A1	→	○いちご女子交流会 研修・意見交換会 11名 R4.10.7 ○伊万里・有田農業女子交流会 講演・意見交換会 18名 R4.11.30 ○さが農業女子サミットin唐津 パネルディスカッション・分科会 15名 R5.1.10	継続して推進する。
87	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	農業委員会	認定農業者など専業農家への家族経営協定の普及推進	A1	A1	→	認定農業者の更新や新規就農者に協定締結の案内を行った。 令和4年度末協定締結108件	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
88	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	農業委員会	女性農業従事者の農業年金制度周知及び加入促進	A3	A3	→	農業所得が不安定であり、新規加入は少ない状況。 令和4年度末被保険者数56人(うち女性8人) 令和4年度戸別訪問による加入推進29人(うち女性5人)	継続して実施する。
89	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	子育て支援課	病児後保育の実施	A1	A1	→	病児後保育室すこやかににおいて、病児後保育を実施。 R4利用者数 7人 また、令和元年度から武雄市と協定を結び、病児病後児保育施設「テテ」を利用できるようにし、利用者は49人だった。	継続して実施する。
90	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	子育て支援課	延長保育の実施	A1	A1	→	全園で実施した。 ※補助対象は、私立17園	継続して実施する。
91	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	教育総務課	小学生を対象とした留守家庭児童クラブの運営充実	A1	A1	→	13小学校で25クラブを開設。支援単位(部屋数)は34。 R4年度に東山代小:長期休業のみ1部屋開設(定員38人)	安心して働くことができる環境を整えるため、待機児童が発生しないよう、利用希望者数に応じた、クラブ数・支援単位・定員の見直しを行う必要がある。
92	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	生涯学習課	女性が参加できる研修時期・時間帯・研修内容の改善	A3	A3	→	令和4年度は新型コロナウイルスの影響により各種講座を中止した。	既存事業に働く男女や子育て中の男女に配慮したプログラムを検討する。
93	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	生涯学習課	社会教育団体の育成・支援	A1	A1	→	社会教育団体への運営費補助を行うとともに、社会教育関係団体はその目的のために中央公民館(生涯学習センター)を使用する場合は、使用料を減免した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
94	2 女性に関する問題	(2)「男女協働参画社会」を形成するための環境の推進	③男女が共に働きやすい環境の推進	生涯学習課	企業トップクラス研修、伊万里西松浦地区公正採用選考人権啓発推進員*研修会の実施	A2	A2	→	企業トップクラス研修を2回実施した。伊万里西松浦地区公正採用選考人権啓発推進員研修会を行う予定であったが、感染症拡大防止のため中止となった。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
95	2 女性に関する問題	(3)男女間のあらゆる暴力の根絶	①男女間の暴力を防ぐための教育・啓発の推進	企画政策課	チラシ等の配布と出前講座の開催	A1	A1	→	・DV防止街頭キャンペーンの実施(1回) ・「女性に対する暴力をなくす運動」のケーブルテレビや広報紙での啓発、DV防止啓発パネルの展示 ・パープルライトアップの実施(市内2か所)、パープルリボンツリーの展示	継続して実施する。
96	2 女性に関する問題	(3)男女間のあらゆる暴力の根絶	②相談体制と支援の充実	企画政策課	市広報紙掲載やリーフレット設置等による女性相談の周知	A2	A2	→	・女性相談案内リーフレットを市役所、市関連施設、市内店舗等の女性用トイレに常時備え啓発 ・市ホームページでの相談窓口周知、広報紙による周知(11月) ・DV防止キャンペーンの実施(1回) ・市内店舗の壁面ビジョンを利用し、DV防止啓発と相談窓口の周知	リーフレット設置数が把握できていないため今後調査を行う。
97	2 女性に関する問題	(4)その他		企画政策課	関係法令、国、県の施策に準じた施策の推進	A1	A1	→	国・県の施策に準じた施策を第5次男女協働参画基本計画に取り入れ策定	継続して実施する。
98	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		健康づくり課	妊産婦・乳幼児相談、電話相談の実施	A1	A1	→	・妊産婦乳幼児相談開催回数12回 延利用者数211人 ・すくすく子育て相談開催回数6回 延参加者数 22人 ・電話相談 延1,645件	親子の相談時間を予約制でとっているため、個別相談の充実が図れている。
99	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		健康づくり課	妊婦わくわくクラブ事業の実施	A2	A1	↑	・妊婦わくわくクラブ開催回数4回 参加者数53人	開催回数を増やし、少人数の予約制で実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
100	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		健康づくり課	乳幼児健診の実施と健診未受診者や要指導者への訪問指導の充実	A1	A1	→	乳幼児健診受診者数 ・3か月児健診 個別で実施 人 ・10か月児健診 354人 ・1歳6か月児健診12回 394 人 ・3歳児健診 12回 422 人 ・訪問指導 延 552人	未受診者については、市で定めた未受診者対策フロー図を参考に、必要時子育て部門と情報共有を行い現認や訪問などで対応できている。
101	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	子ども・子育て支援事業計画の推進 H27-31(第1期) H32-36(第2期)	A1	A1	→	令和元年度に令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする第2期子ども・子育て支援事業計画を策定し、施策を実施した。	令和5、6年度で第3期子ども・子育て支援計画を策定する。
102	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	子育て支援センター事業の実施	A1	A1	→	子育ての悩みなどの相談に対し、つどいの広場や電話等により対応した。R4ぽっぽ利用者延5,491人。うち、相談件数81件	継続して実施する。
103	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	子どもの発達段階に応じた保育の充実	A1	A1	→	保育所保育指針に基づき、子どもの発達の特性や発達過程を理解し、一人ひとりの子どもの心身の状態に応じた保育の充実を図った。	継続して実施する。
104	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	児童センターでのクラブ活動の実施 隣保館との共催による野外活動の実施	A1	A1	→	新型コロナウイルス感染症の影響で行動が制限される中でも、工作などできることを工夫しながら実施することができた。	継続して実施する。
105	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	男性の育児参加のための事業の実施	A1	A1	→	保育園の清掃作業、各種行事の父親の参加を促した。子育て支援センターぽっぽにおいては、「いまりパパネットワーク」を中心にパパ広場やパパ講座を実施した。	継続して実施する。
106	3 子どもに関する問題	(1)子育て支援の充実		子育て支援課	障害児保育の実施	A1	A1	→	障がい児や配慮を必要とする児童を受け入れる保育園に対し、必要経費の一部を補助するなど、障がい児保育を促進した。R4実績12園、25人	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
107	3 子どもに関する問題	(2)啓発活動の推進		子育て支援課	様々な方法での子どもの権利等に関する情報の周知	A2	A2	→	入園のしおりあるいはホームページ等に児童憲章が掲載されていない園もある。	周知方法を再考し啓発に努める。
108	3 子どもに関する問題	(2)啓発活動の推進		生涯学習課	子どもの権利条約の周知	A1	A1	→	広報伊万里に啓発記事を掲載し周知を行った。地区巡回講座等でも啓発を行っている。	継続して実施する。
109	3 子どもに関する問題	(2)啓発活動の推進		生涯学習課	市広報紙、ケーブルテレビ、新聞等の広告媒体を活用した啓発	A1	A1	→	広報伊万里に啓発記事を掲載し周知を行った。	継続して実施する。
110	3 子どもに関する問題	(3)児童生徒の権利に関する理念の教育・啓発		学校教育課	校内研修会や文書回覧	A1	A1	→	校内研修会や文書回覧により職員への主旨、内容の徹底を図った。	継続して実施する。
111	3 子どもに関する問題	(3)児童生徒の権利に関する理念の教育・啓発		学校教育課	学級活動の時間に実施(子どもの権利条約の学習)	A1	A1	→	学級活動や社会科での啓発を行った。(子どもの権利条約の学習)	継続して実施する。
112	3 子どもに関する問題	(3)児童生徒の権利に関する理念の教育・啓発		学校教育課	PTA総会や授業参観等での啓発学習	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症により未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
113	3 子どもに関する問題	(3)児童生徒の権利に関する理念の教育・啓発		生涯学習課	公民館活動等での啓発	A2	A2	→	青少年育成町民会議や子ども会活動を通して啓発を行った。	継続して実施する。
114	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		人権・同和対策課	「いじめなし都市宣言」の趣旨の周知	A1	A3	↓	特に周知活動を行わなかった。	人権啓発パネル展などの折に周知を行うよう検討する。
115	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		学校教育課	「いのちの教育」やふれあい道徳の公開授業	A2	A2	→	新型コロナウイルス感染症により未実施の学校あり。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
116	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		学校教育課	いじめの実態把握のため、年2回の児童生徒、保護者へのアンケート調査の実施	A1	A1	→	児童生徒、保護者へのアンケート調査を実施し、学校長が直接対応をした。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
117	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		学校教育課	他人を思いやる「心の教育」の推進(教育相談研修会)	A1	A1	→	「いのちの教育」やふれあい道德の公開授業、「伊万里っ子しぐさ」や「伊万里市童謡歌集」の活用を通じた心の教育を図った。	継続して実施する。
118	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		学校教育課	すべての教育活動の中で一人一人の児童・生徒を大切にした教育活動の展開 学校適応指導教室の開設	A1	A1	→	全ての教育活動の中で の展開や、学校適応指導教室2か所による対応を図った。	継続して実施する。
119	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		学校教育課	スクールカウンセラー配置事業実施	A1	A1	→	スクールカウンセラー配置事業、佐賀県スクールカウンセラー配置事業による相談活動の充実を図った。また市の緊急カウンセラーの活用が役に立った。	継続して実施する。
120	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		生涯学習課	他人を思いやる「心の教育」の推進	A3	A2	↑	大川町夏休みワイワイキャンプは感染症拡大防止のため実施することができなかったが、6年生交流事業を通して、人権意識の基礎となる「いたわり」「思いやり」「感謝」の気持ちを持った子どもの育成に努めた。	感染症が収束すれば、大川町夏休みワイワイキャンプも実施し、A1評価に復帰する見込み
121	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		生涯学習課	「いじめなし都市宣言」の趣旨の周知	A1	A1	→	宣言文をコミュニティセンターなどに掲示し周知を図っている。地区巡回講座で子どもの人権に関連した啓発を行った。	継続して実施する。
122	3 子どもに関する問題	(4)いじめ問題などへの取組		生涯学習課	家庭や地域社会、関係機関との連携による子どもの相談・指導	A1	A1	→	青少年の悩み事に対応するため青少年相談室を設置し、専門の相談員を配置している。	継続して実施する。
123	3 子どもに関する問題	(5)児童虐待防止への取組		子育て支援課	市広報紙、ケーブルテレビ等による啓発	A1	A1	→	11月の「児童虐待防止強調月間」にあわせ、広報いまりや市のホームページでの周知を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
124	3 子どもに関する問題	(5)児童虐待防止への取組		子育て支援課	関係機関との連携による、早期発見と通報網整備、保護対策の構築	A1	A1	→	関係機関等と構成するケース進行管理会議において、困難事例等の情報共有を図った。	継続して実施する。
125	3 子どもに関する問題	(5)児童虐待防止への取組		学校教育課	幼児・児童虐待防止等について会合や便りで啓発	A1	A1	→	幼児・児童虐待防止等について、校長会での伝達や、専門家から聞いた話を学校で広めたり、便りで啓発を図ったりした。	継続して実施する。
126	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		子育て支援課	異世代、異年齢との交流の場の提供	A1	A1	→	各保育園では、田植え、芋苗植え、芋ほりなど各種行事において、JA青年部との交流を実施した。	継続して実施する。
127	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	定期巡回パトロールの実施 「こども見守り隊」の結成と活動支援	A1	A1	→	市内全地区で子ども見守り隊を組織し、子どもたちの登下校時の立哨を行った。	継続して実施する。
128	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	伊万里サマーキャンプ、チャレンジキャンプの実施	A3	A3	→	伊万里サマーキャンプ及びチャレンジキャンプについて、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
129	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	放課後子ども教室推進事業の実施	A1	A1	→	市内6地区・町において、放課後子ども教室を6教室実施し、子どもたちの社会性、自主性、創造性などを育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを推進した。	継続して実施する。
130	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	青少年問題協議会、青少年育成市民会議、町民会議、子ども会連合会との連携強化	A1	A1	→	関係団体間で連携・協力しながら事業の展開を図った。	継続して実施する。
131	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	青少年健全育成指導者の研修・育成	A3	A3	→	令和4年度は、伊万里サマーキャンプ等の事業が実施できなかったため、指導者の育成を図ることができなかった。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施し、指導者の育成を図る。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
132	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		生涯学習課	放課後子ども教室推進事業の展開	A1	A1	→	市内6地区・町において、放課後子ども教室を6教室実施し、子どもたちの社会性、自主性、創造性などを育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりを推進した。	継続して実施する。
133	3 子どもに関する問題	(6)健全育成に向けての取組		教育総務課	留守家庭児童クラブの運営充実	A1	A1	→	支援を要する児童が増加するなか、安心して過ごせる場となるよう支援員体制の充実のため、昨年に引き続き、更に支援員の増員を行った。 ・各ブロック(A・B・C)に1名づつ増員するため、3名追加配置。	支援を要する児童は年々増加しており、支援員への負担は増加している。児童数に応じた支援員体制の充実を図る必要がある。
134	3 子どもに関する問題	(7)児童の性的被害の防止及び健康被害の防止		環境政策課	光化学オキシダントによる健康被害の未然防止のため注意報等発令時における学校や保育園等の施設を通じた連絡体制の整備	A1	A1	→	事業名、回数等、前年度と相違なし。毎年5月末頃までを目途に連絡体制の確認、整備を行っている。	特になし
135	3 子どもに関する問題	(7)児童の性的被害の防止及び健康被害の防止		健康づくり課	思春期における保健福祉体験学習事業の実施	B	E		3か月健診を集団で実施できず、体験の場が提供できなくなったため開催中止、4年度も開催なし。	今後も3か月児健診を個別健診で継続する予定。
136	3 子どもに関する問題	(7)児童の性的被害の防止及び健康被害の防止		学校教育課	保健の時間、学級活動の時間を中心に思春期の児童・生徒を対象に、エイズをはじめ性行為感染症の予防等に関する保健教育の実施	A1	A1	→	校長会等で性教育の大切さを伝え、各学校で性行為感染症の予防等に関する保健教育を実施した。また、県からの通知も適宜学校へ連絡し、校内での管理職による指導に役立てた。	継続して実施する。
137	3 子どもに関する問題	(7)児童の性的被害の防止及び健康被害の防止		学校教育課	保健の時間、学級活動の時間を中心に発達段階に即した、性に関する正しい知識の習得と生命の尊厳や母性の社会的機能としての重要性を認識させるための教育の実施	A1	A1	→	保健の時間、学級活動の時間を中心に性に関する教育の充実を図った。また、県の事業を受け、校医の講話などを実施した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
138	3 子どもに関する問題	(7)児童の性的被害の防止及び健康被害の防止		生涯学習課	子ども、保護者の防犯意識、性に対する正しい理解と知識の普及	A3	A2	↑	新型コロナウイルス感染症の影響により中止していた青少年育成町民会議においての各種研修会、講演会等が徐々に開催できるようになった。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
139	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		健康づくり課	子育て世代包括支援センター事業の実施	A1	A1	→	妊娠届出338件 パーキングパーミット107件 産婦保健指導31人 産後ケア事業2人	母子健康手帳の交付申請は予約制で行っており、個別対応ができています。
140	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		健康づくり課	子どもや家庭に関する各種相談機関との連携強化	A2	A1	↑	母子保健の関係者からなるこどもの健康を考える会を年4回開催	地域の課題や改善に向けた検討など同業者での情報共有ができています。
141	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		子育て支援課	子育て支援センター事業の実施	A1	A1	→	子育ての悩みなどの相談に対し、つどいの広場や電話等により対応した。 R4ぼっぽ利用者延5,491人。うち、相談件数81件	継続して実施する。
142	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		子育て支援課	児童虐待防止に対する取組み	A1	A1	→	要保護児童対策協議会において、虐待等の要保護児童対策として関係機関との連携強化を図った。	継続して実施する。
143	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		学校教育課	スクールカウンセラーの配置	A1	A1	→	スクールカウンセラー配置事業、佐賀県スクールカウンセラー配置事業による相談活動の充実を図った。	継続して実施する。
144	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		学校教育課	伊万里市いじめ対策等緊急カウンセラー事業の実施	A1	A1	→	伊万里市いじめ対策等緊急カウンセラー事業は、27年度から始まったが、4名のカウンセラー等に依頼し、年間合計15件の実施があった。	継続して実施する。
145	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		生涯学習課	子どもや家庭に関する各種相談機関との連携強化	A1	A1	→	青少年育成市民会議環境浄化委員会や青少年問題対策連絡協議会を開催し、相談機関及び関係機関との連携を図った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
146	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		生涯学習課	青少年相談室の機能充実	A1	A1	→	青少年相談室に専門の相談員を配置し、機能充実を図った。	継続して実施する。
147	3 子どもに関する問題	(8)相談・支援体制の充実		生涯学習課	青少年センターに相談員配置	A1	A1	→	青少年相談室の業務を教員OBを中心とした団体に委託し、必要な相談員を配置して、電話相談・来所相談に対応した。	継続して実施する。
148	4 高齢者に関する問題	(1)市民意識の高揚		長寿社会課	伊万里市老人福祉大会の開催	A3	A1	↑	老人福祉大会を開催し、生きがいを持ち互いに支えあうなど、健康長寿講演を実施した。	R5年度は8月に老人福祉大会開催を予定している。
149	4 高齢者に関する問題	(1)市民意識の高揚		長寿社会課	敬老会の開催委託事業の実施	A1	A2	→	コロナ禍のため集合せず、対象者に記念品を配布し、長寿に敬意を表した。	R5年度は9月の敬老の日を中心に各地区で行事開催の予定。
150	4 高齢者に関する問題	(1)市民意識の高揚		生涯学習課	地区巡回講座等での高齢者問題の啓発	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行っている。	継続して実施する。
151	4 高齢者に関する問題	(2)学校における福祉教育の推進		学校教育課	総合的な学習の時間に、介護・福祉体験活動を実施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
152	4 高齢者に関する問題	(2)学校における福祉教育の推進		学校教育課	総合的な学習の時間や集会活動等で高齢者の豊かな知識を生かした学習の実施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
153	4 高齢者に関する問題	(2)学校における福祉教育の推進		学校教育課	総合的な学習の時間や集会活動等で在宅福祉サービス等の体験活動を通じた福祉教育の実施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
154	4 高齢者に関する問題	(2)学校における福祉教育の推進		学校教育課	総合的な学習の時間や集会活動等で福祉施設などの訪問、学校行事への高齢者の招待などの交流事業の実施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
155	4 高齢者に関する問題	(2)学校における福祉教育の推進		学校教育課	総合的な学習の時間や集会活動等で教育講演会等を通じた福祉教育の実施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染症予防のため未実施。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
156	4 高齢者に関する問題	(3)高齢者への虐待防止の取組		長寿社会課	普及啓発チラシ等の配布	A1	A1	→	普及啓発のチラシを作成し、民生委員等へ配布した。高齢者に関わる関係機関の関係者が参加するコミュニティケア会議において、高齢者虐待防止の研修を行い、74名が受講した。	潜在した高齢者がいる可能性もあり、普及啓発を継続していく。
157	4 高齢者に関する問題	(3)高齢者への虐待防止の取組		長寿社会課	早期発見と解決のため包括支援センター等関係機関の連携	A1	A1	→	地域包括支援センターの保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員及び、関係機関と連携を図り対応した。	継続して実施する。
158	4 高齢者に関する問題	(3)高齢者への虐待防止の取組		長寿社会課	地域包括支援センターにおける総合相談支援業務	A1	A1	→	地域包括支援センターにおいて、関係機関と連携し、相談内容に応じた支援を行った。また、地域の相談機関として5か所の在宅介護支援センターで、相談、電話訪問等の対応を行った。	継続して実施する。
159	4 高齢者に関する問題	(4)介護サービスの充実		長寿社会課	伊万里市介護保険運営会議による適正な介護保険制度の進捗管理	A1	A1	→	介護保険法により介護保険事業計画は、3年に1度見直すことが定められており、令和4年度は第8期介護保険事業計画について、介護保険運営会議で説明を行った。開催数年間1回。 医療関係者3名、保健関係者1名、介護保険事業者6名、民生児童委員1名、社会福祉協議会1名、被保険者7名合計19名	令和4年度は事業計画作成年度ではなかったため、年1回の開催となった。 継続して実施する。
160	4 高齢者に関する問題	(4)介護サービスの充実		長寿社会課	サービス事業者の指導	A1	A1	→	在宅サービスについては県長寿社会課により運営指導が実施されている。伊万里市(長寿社会課)においては、地域密着型サービス10件、指定居宅介護支援事業所7件の運営指導を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
161	4 高齢者に関する問題	(4)介護サービスの充実		長寿社会課	在宅高齢者住宅改修に対する支援	A1	A1	→	住宅改修費支給決定177件（手すり設置、段差解消等）	継続して実施する。
162	4 高齢者に関する問題	(4)介護サービスの充実		長寿社会課	居宅介護サービスや地域密着型サービス事業の実施	A1	A1	→	サービス利用者件数 ショートステイ2,035件 デイサービス11,476件（認知症デイ含む） ホームヘルプサービス（訪問介護）2,166件	継続して実施する。
163	4 高齢者に関する問題	(5)生活支援体制の充実		都市政策課	市営住宅建替事業による高齢者用住戸の確保検討	A3	A3	→	市営住宅建替の計画はあるが、高齢者の身体的負担等を考慮し、具体的な整備に至っていない。	全体的に高齢化が進んでおり、転居への身体的・心理的不安の解消が必要。
164	4 高齢者に関する問題	(5)生活支援体制の充実		環境政策課	光化学オキシダントによる健康被害の未然防止のため、注意報等発令時における老人福祉施設を通じた連絡体制の整備	A1	A1	→	事業名、回数等、前年度と相違なし。毎年5月末頃までを目途に連絡体制の確認、整備を行っている。	特になし
165	4 高齢者に関する問題	(5)生活支援体制の充実		長寿社会課	「高齢者向けサービスの手引き(情報誌)」の作成	A1	A1	→	「高齢者向けサービスの手引き(情報誌)」の内容を更新し、作成した。	内容を随時更新し作成する。
166	4 高齢者に関する問題	(5)生活支援体制の充実		長寿社会課	緊急通報システム運用事業の実施	A1	A1	→	一人暮らし等の高齢者にシステム機器を貸与し安心安全な生活を支援した。	R5年度は対象者に「高齢者のみ世帯」を追加し、より多くの高齢者の生活を支援する予定。
167	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいづくりの推進	①介護予防のための取組	長寿社会課	伊万里市高齢者福祉計画に沿った高齢者保健福祉施策の総合的、効果的な推進	A1	A1	→	計画に沿った高齢者に関する事業を実施した。	R5年年度は改定の時期であるため、高齢者ニーズにあった計画策定を行う予定。
168	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいづくりの推進	①介護予防のための取組	健康づくり課	健康診査、健康教育、健康相談の実施	A2	A1	↑	・R4年度から後期高齢者健診の受診券の送付対象を全員に変更。後期高齢者健康診査受診者数1,046人 ・65歳以上延人数 健康教育2,300人、健康相談609人	引き続き、対象者全員に健診受診券を送付し治療中の方でも健診を案内する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
169	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	②生きがいがづくり事業の推進	長寿社会課	市老人クラブ連合会及び単位老人クラブ活動補助の実施	A1	A1	→	単位クラブ24クラブに補助支援を行うとともに、活動のサポートを行った。	単位クラブの補助を実施予定。
170	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	②生きがいがづくり事業の推進	長寿社会課	公共老人施設管理運営事業の実施	A1	A1	→	老人福祉センターの指定管理(社会福祉協議会)による管理運営を行い、約16,000人が利用した。	老人福祉センターの指定管理(社会福祉協議会)による管理運営を行い、気軽に利用できる環境をつくる。
171	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	②生きがいがづくり事業の推進	生涯学習課	高齢者団体の支援・育成	A3	A2	↑	コロナで中止していたさわやか講座を再開し、学習の場を設けた。	受講者が増えるよう講座の内容を工夫する。
172	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	②生きがいがづくり事業の推進	生涯学習課	高齢者教室等の開設	A3	A2	↑	コロナで中止していたさわやか講座を再開し、学習の場を設けた。	受講者が増えるよう講座の内容を工夫する。
173	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	②生きがいがづくり事業の推進	スポーツ課	市民ゲートボール大会、グラウンドゴルフ大会、さわやかスポレク祭の実施 ニュースポーツ等の指導	A1	A1	→	・市民グラウンドゴルフ大会 64チーム 417名参加 ・市民ゲートボール大会 12チーム 77名参加 ・出前講座を利用したニュースポーツ講座 28回(延べ868名)	国スポ・全障スポを次年度に控え、機運を高めるためにも、引き続き高齢者が気軽に取り組むことができるニュースポーツ等を開催する。
174	4 高齢者に関する問題	(6)高齢者の活動支援・生きがいがづくりの推進	③社会活動への参加促進	長寿社会課	シルバー人材センター支援事業	A1	A1	→	運営支援や会員募集をサポートし、高齢者の就労を通じた生きがいがづくりを行った。	R5年度は運営支援や会員募集をサポートし、高齢者の就労による生きがいや仲間づくりを行う予定。
175	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	①啓発活動の推進	福祉課	ふれあい文化祭の開催や広報等を通じた障害のある方に対する理解の促進	A1	A2	↓	毎年度2月開催の「ふれあい障がい者文化祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からコンサートは中止し、作品展のみの開催とした。また、広報誌や市ホームページにおいては、色覚に障がいのある人への配慮を啓発する記事を掲載した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
176	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	①啓発活動の推進	福祉課	点字広報作成、手話講習会の実施	A1	A1	→	ボランティアによる点字広報や声の広報を作成した。 また、手話通訳者・要約筆記者を各種イベントや病院受診等に派遣し、社会参加を支援した(派遣回数:手話通訳77回、要約筆記2回)ほか、手話奉仕員を養成する講座を開催した。	継続して実施する。
177	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	①啓発活動の推進	生涯学習課	市広報紙による障害者に対する理解と障害者優先の意識の醸成	A1	A1	→	障がい者の人権について、職員出演・制作の人権啓発動画「月刊じんけんかわらばん」のYoutube配信を通じて啓発を行った。	継続して実施する。
178	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	福祉課	放課後等デイサービスの支援	A1	A1	→	発達が気になる児童生徒が必要とするサービスを適切に受けられるよう、障がい児支援利用計画に基づき、児童通所支援の支給決定等を行った。	継続して実施する。
179	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	福祉課	こどもハートフルセンターひまわり園での療育訓練等の実施	A1	A1	→	保健センター等の関係機関と連携し、発達障がい等の早期発見に努めるとともに、こどもハートフルセンター「ひまわり園」で生活機能訓練や言語訓練を実施した。(令和5年3月現在、登録者36人)	継続して実施する。
180	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	子育て支援課	障害児保育事業による障害の種類や状況に応じた障害児保育の受け入れ	A1	A1	→	障がい児や配慮を必要とする児童を受け入れる保育園に対し、必要経費の一部を補助するなど、障がい児保育を促進した。 R4実績12園、25人	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
181	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	福祉課	こどもハートフルセンターひまわり園での心身障害児に対する就学相談	A1	A1	→	保健センター等の関係機関と連携し、発達障がい等の早期発見に努めるとともに、こどもハートフルセンター「ひまわり園」で生活機能訓練や言語訓練を実施した。(令和5年3月現在、登録者36人)	継続して実施する。
182	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	学校教育課	特別支援教育による心身に障害がある児童生徒の社会的自立能力の向上	A1	A1	→	特別支援教育による心身に障害のある児童生徒の社会的自立能力の向上を図った。	継続して実施する。
183	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	学校教育課	心身障害児就学指導の実施	A1	A1	→	学校での心身障害児就学指導に加え、年2回の伊万里市就学相談会を実施した。	継続して実施する。
184	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	生涯学習課	文化活動への支援	A2	A3	↓	特別支援学校、特別支援学級卒業生に対しては「あおぞら青年学級」を通じて社会での孤立防止を支援しているが、感染症拡大防止のため開催を見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
185	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	スポーツ課	スポーツ・レクリエーション活動への支援	A2	A2	→	・学校行事、地域のイベント等に対しニュースポーツ用具の貸出を実施している。 ・障がい者関係団体主催の体育施設利用に対して使用料の減免措置を行った。	全障スポを次年度に控え、パラスポーツの周知をはじめ、各種団体等と連携し、障がい者でも楽しめるスポーツ活動の情報発信に努める。
186	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	②療育の充実、特別支援教育の推進	市民図書館	点字図書・大活字本・朗読CD等の充実 (視覚障害及び視覚弱者に対応した資料の購入)	A2	A1	↑	点字図書122冊(購入2冊、移管1冊)、大活字図書1,889冊(新規購入105冊、寄贈・移管255冊)	読書バリアフリーにより親しめるような特設コーナーの整備を進める。
187	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	③雇用・就労の促進	企業誘致・商工振興課	国、県と連携した広報活動	A2	A2	→	労働局や県等の各種支援制度の等の周知を行った。 また、障害のある方から雇用の相談があった場合は、ハローワークの専用窓口をお知らせしている。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
188	5 障害のある人に関する問題	(1)社会参加の促進	③雇用・就労の促進	福祉課	関係機関との連携による雇用の促進	A1	A1	→	伊万里・有田地域の障がい者就労支援事業所と協働し、市ホームページに掲載している施設情報を更新した。	継続して実施する。
189	5 障害のある人に関する問題	(2)保健・医療の充実		健康づくり課	健康診査・健康教育・健康相談の実施	A2	A1	↑	・健康相談開催回数 370回 延人数 771人 ・健康教育開催回数 258回 延人数 2,606人	継続して実施する。
190	5 障害のある人に関する問題	(2)保健・医療の充実		健康づくり課	訪問指導、妊産婦・乳幼児相談実施による健診未受診者対策	A1	A1	→	乳幼児健診未受診者には、文書の郵送、電話による受診勧奨を実施。健診後の要指導者に対しても訪問や乳幼児相談、電話などによる支援を行った。	年度をまたぐ未受診者については、漏れがないように継続的に受診勧奨を行っていく。
191	5 障害のある人に関する問題	(3)日常生活における支援		長寿社会課	緊急通報システム運用事業の実施	A1	A1	→	一人暮らし等の高齢者にシステム機器を貸与し安心安全な生活を支援した。	R5年度は対象者の拡大を行い、より多くの人の生活を支援する予定。
192	5 障害のある人に関する問題	(3)日常生活における支援		福祉課	障害者総合支援法に基づく各種サービスの提供	A1	A1	→	福祉課窓口や障がい者生活支援センター等で受けた相談について、障がい者が必要とするサービスを適切に提供するための支給決定等を行い、日常生活における支援につなげた。	継続して実施する。
193	5 障害のある人に関する問題	(3)日常生活における支援		福祉課	重度心身障害者タクシー料金助成事業、重度心身障害者医療費助成事業、障害者(児)日常生活用具給付事業、身体障害者(児)補装具給付事業の実施	A1	A1	→	補装具や日常生活用具の給付、タクシー利用券の交付、重度心身障がい者への医療費助成、特別障がい者手当等の支給をつうじて、障がい者の日常生活及び社会生活を支援した。	継続して実施する。
194	5 障害のある人に関する問題	(3)日常生活における支援		福祉課	各種施設への入所に伴う給付費の支給	A1	A1	→	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の入所施設における介護や日常生活上の支援、創作的活動の機会を提供する福祉サービスに対し、給付費を支給した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
195	5 障害のある 人に関する問 題	(3)日常生活における支援		福祉課	就労継続支援施設の運営支援	A1	A1	→	市ホームページ上に就労 支援事業所の情報を掲 載した。また、「障がい者 就労施設等からの物品 等の調達方針」を策定 し、庁内全部署に対し障 がい者就労施設への発 注促進を依頼する文書を 発出した。(目標額に対す る達成率:102.9%)	継続して実施する。
196	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		防災危機管理課	音の出る信号機の設置促進	A1	A1	→	市内7か所に設置されて いる。新規設置要望は あっていない。	特になし
197	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	都市計画事業における段差解消やス ロープ施設などの整備促進	D	D		現在、都市計画道路の見 直しにより、街路事業を 実施していない。	実施時期については検討 が必要。
198	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	道路改良時の歩道の改修実施	A2	A2	→	市道中山～井野尾線の 歩道設置工事(L=390m) を行った。令和4年度工事 完了。	市道提川～川西線の歩 道設置工事をR5年度か ら実施する。
199	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	道路改良時の歩道部電柱の移転による 歩道空間の改善	D	D		昨年度実施した道路改良 工事では歩道部に電柱 がなかったため未実施。	電柱移転が必要な場合 は、早期に電柱所有者と 協議を行い、歩道空間の 確保を行います。
200	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	歩行空間の改善(都市計画道路)	A2	D		現在、都市計画道路の見 直しにより、街路事業を 実施していない。	実施時期については検討 が必要。
201	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	歩行空間の改善(市道)	A2	A2	→	道路植栽の剪定を行っ た。 (1回/年)	道路植栽の剪定を満足 にできておらず、歩道の 歩行空間の確保を行わな ければならない。
202	5 障害のある 人に関する問 題	(4)生活環境の整備		道路河川課	所管施設に点字ブロック設置(都市計 画道路)	D	D		現在、都市計画道路の見 直しにより、街路事業を 実施していない。	実施時期については検討 が必要。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
203	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		道路河川課	所管施設に点字ブロック設置(市道)	D	D		既存点字ブロックの劣化による更新はなかった。	今後は、既存点字ブロックの劣化等による更新が見込まれます。
204	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		都市政策課	市営住宅建替事業による障害者用住戸の確保検討	A3	A3	→	市営住宅建替の計画はあるが、具体的な整備に至っていない。	障害者への低層階の部屋の確保が課題。
205	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		環境政策課	全ての種類のごみ袋で目の不自由な人に配慮したごみ袋の作製実施	A1	A1	→	全てのごみ袋の結束部分に穴を開け、目の不自由な人が種類を判別できるように作製している。	特になし。
206	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		環境政策課	独居高齢者世帯・障害者世帯の粗大ごみ回収支援の要望に対応	A1	A1	→	随時、収集業者に連絡を行い、対応している。	特になし。
207	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		福祉課	施設管理者による点検と実施検討	A2	A2	→	市が所管する施設については、毎月、施設管理者から安全点検の結果報告を受けている。	継続して実施する。
208	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		福祉課	身体障害者自動車改造助成事業の実施	A3	A1	↑	重度身体障がい者の地域社会への積極的な参加を促進するため、障がい者用自動車の改造に必要な経費の一部を助成した。(令和4年度実績:2件)	継続して実施する。
209	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		福祉課	「伊万里市公共施設ユニバーサルデザインマニュアル」に沿った公共施設の整備	A1	A1	→	「伊万里市公共施設ユニバーサルデザインマニュアル」を職員が常時閲覧できるよう庁内ネットワーク上に掲載し、公共施設を整備する際のユニバーサルデザインへの配慮を啓発している。	継続して実施する。
210	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		福祉課	福祉課窓口への手話通訳専門員の配置	A1	A1	→	実務経験が豊富な手話通訳専門員1名を福祉課に配置し、聴覚障がい者のコミュニケーション支援を行った。 (令和4年度相談件数:690件)	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
211	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		施設営繕課	市有施設におけるバリアフリー化	A1	A1	→	大坪市営住宅の内部改修の設計においてバリアフリー化を計画した。 伊万里中学校の改築工事においてバリアフリー化を図った。	継続して実施する。
212	5 障害のある人に関する問題	(4)生活環境の整備		関係各課	車椅子・障害者用駐車場、トイレ等の設置推進	A1	A1	→	伊万里消防署に障がい者用駐車場を整備した。	今後も設置を検討していく。
213	5 障害のある人に関する問題	(5)その他		福祉課	伊万里市障害者計画策定委員会等の設置	D	D		(計画策定年度外)	(計画策定年度外)
214	6 外国人に関する問題	(1)国際理解の醸成		まちづくり課	総合学習への講師の派遣 「国際交流ひろば」及び「多文化交流事業」の開催支援	A1	A1	→	●国際交流ひろば【R5.1.29】 ・外国人講師 3名 ・参加児童 70名 ・各国の紹介、遊びを通じた交流 ●多文化交流事業【R4.7.22】 ・「多文化共生の担い手連携促進検討会・交流会」参加	継続して実施する。
215	6 外国人に関する問題	(1)国際理解の醸成		まちづくり課	県との協力により、国際理解の促進を図る	A1	A1	→	佐賀県国際課、佐賀県国際交流協会と連携。 ・さが国際フェスタ開催	継続して実施する。
216	6 外国人に関する問題	(1)国際理解の醸成		生涯学習課	なるほど！ザ・じんけんゼミナール等での外国人問題の啓発	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。
217	6 外国人に関する問題	(1)国際理解の醸成		生涯学習課	国際交流に関する講演会等の開催促進、支援	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。
218	6 外国人に関する問題	(2)国際色豊かな人材の育成		まちづくり課	(伊万里市国際交流協会主催)初級韓国語・中国語教室の開設	A1	A1	→	(伊万里市国際交流協会主催) 講師:章潔氏(市多文化共生マネージャー)により開催。受講者22名	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
219	6 外国人に関する問題	(2)国際色豊かな人材の育成		学校教育課	ALTの小・中学校への派遣	A1	A1	→	市費でのALT採用を行った。	継続して実施する。
220	6 外国人に関する問題	(3)外国人児童生徒に対する支援		学校教育課	外国人等児童生徒の生活支援	A1	A1	→	日本語教育や通級指導による支援を行った。	継続して実施する。
221	6 外国人に関する問題	(4)情報出版サービスの充実		まちづくり課	市内の主要施設や観光についての情報の提供	B	B		実施無し	内容についての検討が必要。
222	6 外国人に関する問題	(4)情報出版サービスの充実		まちづくり課	市広報紙や市国際交流協会機関紙等への大連市関係情報の掲載(公務研修生等)	A1	A1	A1	・大連市を含む中国全体について「中国を知る」市民公開講座を実施。 講師:市多文化共生マネージャー章潔氏	継続して実施する。
223	6 外国人に関する問題	(4)情報出版サービスの充実		まちづくり課	外国人に対する申請書等の記載案内の作成	A1	A1	A1	・多言語コールセンターが活用できるような環境を整えている。 ・「やさしい日本語」の表記を促している。	継続して実施する。
224	6 外国人に関する問題	(4)情報出版サービスの充実		シティプロモーション推進課	観光案内板(英語併記)、観光パンフレット(英語併記等)の作成	D	A1	↑	(英語版)観光パンフレットを作成しPRを行った。	外国語パンフレットを継続して実施する。
225	6 外国人に関する問題	(5)民間交流の促進と支援		まちづくり課	伊万里市国際交流協会助成事業の実施	A1	A1	→	・伊万里市国際交流協会への運営費補助	継続して実施する。
226	6 外国人に関する問題	(6)民間ボランティアとの協働		まちづくり課	通訳など国際交流ボランティアの登録	A1	A1	→	佐賀県国際課管理の名簿等を活用。	継続して実施する。
227	6 外国人に関する問題	(7)その他		学校教育課	各種交流事業への参加促進	A1	A1	→	R3年度と比べ参加の募集範囲を拡大し集合研修を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
228	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	①保健福祉事務所など関係機関との連携	健康づくり課	保健福祉事務所と協力してエイズ予防パネルの展示などの啓発活動を実施	A2	A2	↑	健康づくり課内に常時パンフレットを設置している。	継続して実施する。
229	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	①保健福祉事務所など関係機関との連携	健康づくり課	エイズ相談事業の周知徹底を図る	A1	A1	→	健康づくり課内に常時パンフレットを設置している。	継続して実施する。
230	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	②学校教育におけるエイズ教育(思春期体験学習)などの推進	健康づくり課	思春期における保健福祉体験学習事業の実施	B	E		3か月健診を集団で実施しないため、体験の場が提供できなくなったため開催中止、5年度も開催予定なし。	3か月健診を集団で実施しないため、体験の場が提供できなくなったため開催中止、5年度も開催予定なし。
231	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	②学校教育におけるエイズ教育(思春期体験学習)など	学校教育課	中学校の保健の授業でエイズ教育(思春期体験学習)等実施	A1	A1	→	中学校の保健の授業でエイズ教育(思春期体験学習)等実施をした。	継続して実施する。
232	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	人権・同和対策課	HIV感染者等に対する偏見や差別解消のための啓発	A2	A2	→	広報12月号の人権週間の特集記事に感染者に関する問題として掲載した。また、国で作成されたコロナ差別に関するリーフレットを半回覧した。	より効果的な啓発方法について検討していく。
233	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	健康づくり課	市広報紙や健康講座等による啓発	A1	A1	→	感染症の発生予防や拡大予防について、ケーブルテレビや広報紙、ホームページで啓発を行った。	今後も継続して啓発を行う必要がある。
234	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	健康づくり課	ポスターやチラシによる啓発	A1	A1	→	感染症の発生予防や拡大予防について、ケーブルテレビや広報紙、ホームページで啓発を行った。	今後も継続して啓発を行う必要がある。
235	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	生涯学習課	公民館事業での取り組み	A1	A1	→	公民館との協働で地区巡回講座を実施した。	継続して実施する。
236	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	生涯学習課	なるほど！ザ・じんけんゼミナール等でのHIV、ハンセン病*の啓発	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
237	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	③地域社会や職場などへの啓発	生涯学習課	市広報紙による啓発	A1	A1	→	感染症を取り巻く人権問題について、職員出演・制作のオリジナル啓発動画「月刊じんけんかわらばん」のYoutube配信を通じて啓発を行った。	継続して実施する。
238	7 患者等に関する問題	(1)HIV感染者等	④予防接種、健診等の受診率の向上	健康づくり課	各種健診や予防接種、健康相談、健康教室等の実施	A2	A2	→	予防接種実施者数 延21,630人	償還払い制度の導入で定期予防接種が受けやすい体制づくりができた。
239	7 患者等に関する問題	(2)ハンセン病患者等		人権・同和対策課	ハンセン病患者等に対する偏見や差別解消のための啓発	A2	A2	→	広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討していく。
240	7 患者等に関する問題	(3)その他		健康づくり課	結核検診の実施、市広報紙やチラシによるPR等の実施	A2	A1	↑	結核検診受診者 1,816人	市民センターや個別検診に加え、健康づくり財団の毎日検診も周知していく。
241	7 患者等に関する問題	(3)その他		健康づくり課	保健福祉事務所より市(健康づくり課)へ状況報告の実施	A1	A1	→	管内に感染者が発生した場合は、保健福祉事務所より報告があるため、迅速な対応がとれる体制ができています。	管内に感染者が発生した場合は、保健福祉事務所より報告があるため、迅速な対応がとれる体制ができています。
242	7 患者等に関する問題	(3)その他		健康づくり課	SARS対策緊急時連絡体制、その他感染症緊急連絡体制整備	A1	A1	→	新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催をはじめ、緊急連絡体制の再確認を行った。	新型コロナウイルス感染症対策本部会議の開催をはじめ、緊急連絡体制の再確認を行う。
243	8 犯罪被害者等に関する問題	(1)啓発活動の推進		人権・同和対策課	ホームページや市広報紙等による啓発	A2	A2	→	チラシ等を市庁舎やコミュニティセンターで配布した。また、ホームページ及び広報11月号に掲載し、啓発・周知を行った。	継続して実施する。
244	8 犯罪被害者等に関する問題	(1)啓発活動の推進		生涯学習課	各種講座等を活用した啓発活動の推進	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。
245	8 犯罪被害者等に関する問題	(2)相談・支援体制の充実		人権・同和対策課	相談業務及び支援体制の整備(見舞金の支給)	A2	A2	→	見舞金の支給なし。犯罪被害者等支援養成講座などに参加して、職員の資質向上を図った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
246	8 犯罪被害者等に関する問題	(2)相談・支援体制の充実		人権・同和对策課	関係機関との連携及び支援の引継	A2	A2	→	伊万里警察署犯罪被害者等支援ネットワーク連絡会議に出席し、関係機関との連携を図った。	継続して実施する。
247	8 犯罪被害者等に関する問題	(3)再被害防止及び重大な犯罪の未然防止措置		防災危機管理課	再被害防止措置のための警察、市内防犯組織との連携	A1	A1	→	広報紙による啓発に取り組んだほか、各地区防犯協会と連携しながら防犯活動に取り組んだ。	継続して実施する。
248	8 犯罪被害者等に関する問題	(3)再被害防止及び重大な犯罪の未然防止措置		防災危機管理課	重大犯罪の未然防止措置のための警察、市内防犯組織との連携	A1	A1	→	高校等における暴力団排除教育講話や薬物乱用防止講話、ニセ電話詐欺被害防止等の呼びかけ等を行った。	継続して実施する。
249	9 性的指向・性自認等に関する人権侵害	(1)教育・啓発の推進		人権・同和对策課	性的指向・性自認等に関する正しい認識の啓発	A2	A2	→	ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討していく。
250	9 性的指向・性自認等に関する人権侵害	(2)相談体制の充実		企画政策課	関係機関・団体との連携と相談窓口の周知・啓発	A1	A1	→	・ホームページでの相談窓口周知、広報紙による周知(11月) ・DV相談は、関係課と連携しワンストップ窓口および共通マニュアルの運用により対応	継続して実施する。
251	9 性的指向・性自認等に関する人権侵害	(3)その他		人権・同和对策課	申請書類の様式等の性別記載欄の記載方法の見直し	A2	A2	→	R2までに完了した。	引き続き新たな様式等を作成する場合には、必要性について検討する。
252	10 インターネットによる人権侵害	(1)啓発活動の推進		人権・同和对策課	取締法の周知、情報モラルの啓発	A2	A2	→	ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討していく。
253	10 インターネットによる人権侵害	(2)学校における情報教育の推進		学校教育課	コンピュータ学習での情報モラルの教育	A1	A1	→	いじめや差別等につながらないよう、情報モラル教育の充実を図った。	継続して実施する。
254	10 インターネットによる人権侵害	(3)その他		人権・同和对策課	差別事象のモニタリングの実施	B	B		ネット検索等モニタリングの方法について検討中。	モニタリングの方法について検討するとともに、モニタリングの環境(回線等)の整備を行う予定。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
255	10 インターネットによる人権侵害	(1)啓発活動の推進		生涯学習課	取締法の周知、情報モラルの啓発	A1	A1	→	市人権同和教育推進協議会の総会、役員会で周知、啓発を行った。	継続して実施する。
256	10 インターネットによる人権侵害	(3)その他		生涯学習課	差別事象のモニタリングの実施	A1	A1	→	毎日、ネット上の差別事象についてインターネットパトロールを実施した。	継続して実施する。
257	11 人権に関する様々な問題	(1)刑を終えて出所した人		人権・同和対策課	法務局や保護司会との連携	A2	A2	→	連携して行っている具体的な事例はないが、ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討していく。
258	11 人権に関する様々な問題	(1)刑を終えて出所した人		福祉課	法務局や保護司との連携、「社会を明るくする運動」等の取組の推進、支援	A3	A3	→	県更生保護協会への補助や保護司会の会報配付支援等を行った。(会報配布：年2回)	継続して支援を行う。
259	11 人権に関する様々な問題	(1)刑を終えて出所した人		生涯学習課	更生保護団体との連携 地区巡回講座、なるほど！ザ・じんけんゼミナール等で実態の啓発	A1	A1	→	保護司会やBBSとの連携で教材研究を行い、地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。
260	11 人権に関する様々な問題	(1)刑を終えて出所した人		生涯学習課	法務局や保護司との連携、「社会を明るくする運動」等の取組の推進、支援	A2	A2	→	「社会を明るくする運動」の取組みについて、強調月間に合わせ、市広報紙に掲載するなどの啓発活動を行った。	継続して実施する。
261	11 人権に関する様々な問題	(1)刑を終えて出所した人		生涯学習課	地区巡回講座、なるほど！ザ・じんけんゼミナール、輝く女性のための心のセミナーの実施	A2	A2	→	感染所拡大防止のため平常時に比べ小規模開催に留まった。 じんけんゼミナール実施回数2回	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
262	11 人権に関する様々な問題	(2)ホームレス等生活困窮者		人権・同和対策課	ホームレスに対する偏見や差別解消のための啓発	A2	A2	→	ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
263	11 人権に関する様々な問題	(3)北朝鮮当局による拉致問題等		人権・同和対策課	拉致問題についての啓発	A2	A1	↑	令和4年度から新たに、人権問題に関連する映画の上映会「伊万里じんけんシアター」を企画し、令和4年度は拉致問題をテーマとした「めぐみへの誓い」を北朝鮮人権侵害啓発週間に合わせて12月10日に市民図書館で上映した。また、上映会に合わせて市民図書館でパネル展を実施した。	令和5年度の「伊万里じんけんシアター」は別のテーマの啓発映画を上映するので、他の啓発方法について検討する。
264	11 人権に関する様々な問題	(4)人身取引		人権・同和対策課	人身取引についての啓発	A2	A2	→	ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討する。
265	11 人権に関する様々な問題	(5)災害に起因する人権問題		人権・同和対策課	災害に起因する偏見や差別解消のための啓発	A2	A2	→	ホームページに掲載し啓発を行うとともに、広報12月号の人権週間の特集記事に掲載した。	より効果的な啓発方法について検討する。
266	11 人権に関する様々な問題	(6)個人情報の保護		情報政策課	個人情報保護制度の適正な運用	A1	A1	→	審査会開催回数は6回	令和5年度以降は審査会開催回数が減少する見込のため、職員向けの周知を行うなど別の方法を検討する。
267	11 人権に関する様々な問題	(7)その他の人権問題		生涯学習課	地区巡回講座、なるほど！ザ・じんけんゼミナール等で実態の啓発	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発を行った。	継続して実施する。
268	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(1)就学前教育機関等における人権・同和教育の推進	①集団活動の機会の確保	子育て支援課	地域との交流活動の実施	A1	A1	→	各保育園では、田植え、芋苗植え、芋ほりなど各種行事において、JA青年部との交流を実施した。	継続して実施する。
269	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(1)就学前教育機関等における人権・同和教育の推進	①集団活動の機会の確保	学校教育課	小学校を中心とした幼保小連携により推進	A1	A1	→	小学校を中心とした幼保小連携により推進を図った。	継続して実施する。
270	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(1)就学前教育機関等における人権・同和教育の推進	①集団活動の機会の確保	生涯学習課	幼稚園・保育園における研修会の実施	A1	A1	→	すべての市立保育園、幼稚園の職員を対象に研修会を実施した。実施回数2回	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
271	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(1)就学前教育機関等にお ける人権・同和教育の推進	①集団活動の 機会の確保	市民図書館	お話し会(毎週土曜日)の実施	A2	A2	→	実施回数12回、参加人数 106人 ※新型コロナ対策として 回数を月1回とした。	新型コロナの5類移行に 伴い、お話し会の回数を 増やし、親子が集まれる 場を設定する。
272	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(1)就学前教育機関等にお ける人権・同和教育の推進	②基本的生活 習慣などが身 につく教育	子育て支援課	保育園等における保育の実施	A1	A1	→	保育園での保育活動に おいて、子どもの生活習 慣や社会性等を身につけ るよう配慮した保育を実 施した。	継続して実施する。
273	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(1)就学前教育機関等にお ける人権・同和教育の推進	②基本的生活 習慣などが身 につく教育	学校教育課	小学校を中心とした幼保小連携により 推進	A1	A1	→	小学校を中心とした幼保 小連携により推進を図っ た。	継続して実施する。
274	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(1)就学前教育機関等にお ける人権・同和教育の推進	③指導的立場 への人権・同 和教育の充実	子育て支援課	人権・同和問題研修の実施	A1	A1	→	オンラインで開催された 各種団体主催の人権・同 和問題研修や、伊万里市 主催で伊万里市職員向 けの人権・同和研修を受 講した。	継続して実施する。
275	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(1)就学前教育機関等にお ける人権・同和教育の推進	③指導的立場 への人権・同 和教育の充実	学校教育課	人権・同和教育研究の推進	A1	A1	→	小学校を中心とした幼保 小連携により推進を図っ た。	継続して実施する。
276	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	人権・同和教育研究の実施	A1	A1	→	全教育活動を通じた人 権・同和教育の推進を 図った。	継続して実施する。
277	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	グループエンカウンターの実施	A1	A1	→	全教育活動を通じた人 権・同和教育の推進を図 り、グループエンカウ ンター等を実施した。	継続して実施する。
278	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	読本等の教材活用による授業の展開	A1	A1	→	読本等の教材活用による 授業の展開を図った。	継続して実施する。
279	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	人権週間の取り組みに限らず、年間を 通して実施	A1	A1	→	全教育活動を通じた人 権・同和教育の推進を 図った。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
280	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	初等教育における全教科、全領域にお ける人権・同和教育の充実	A1	A1	→	初等教育における全教 科、全領域における人 権・同和教育の充実を 図った。	継続して実施する。
281	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	①全教育活動 を通じた人権・ 同和教育の推 進	学校教育課	中等教育における全教科、全領域にお ける人権・同和教育の充実	A1	A1	→	初等教育における全教 科、全領域における人 権・同和教育の充実を 図った。	継続して実施する。
282	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	②同和教育な どの成果を生 かした人権・同 和教育の推進	学校教育課	講習会・夏季講座等の研修会	A1	A1	→	新型コロナウイルス感染 症対策として、オンライ ンで参加した。	集合型やオンラインによ る研修により参加する。
283	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	②同和教育な どの成果を生 かした人権・同 和教育の推進	学校教育課	人権・同和教育研究の実施	A1	A1	→	人権・同和教育推進校を 中心に研究を実施し、教 勢の開発や各種資料の 作成につなげている。	継続して実施する。
284	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	③教職員の研 修の充実	学校教育課	人権・同和教育研究の実施	A1	A1	→	全ての小中学校におい て、研究授業や校内研修 を毎年行っている。	継続して実施する。
285	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	④保育所・幼 稚園、小・中学 校、高等学 校、特別支援	学校教育課	特別支援学校との交流学习	A2	A1	→	人権・同和教育研究の実 施により、研究授業の実 施や研修会により、充実 を図っている。	継続して実施する。
286	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	④保育所・幼 稚園、小・中学 校、高等学 校、特別支援	学校教育課	人権・同和教育研究校の推進	A1	A1	→	小学校を中心とした幼保 小連携による人権教育の 推進を図った。	継続して実施する。
287	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	④保育所・幼 稚園、小・中学 校、高等学 校、特別支援	学校教育課	小学校を中心とした幼保小連携による 人権教育の推進	A1	A1	→	小学校を中心とした幼保 小連携による人権教育の 推進を図った。	継続して実施する。
288	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	⑤学校、家 庭、地域社会 との連携	子育て支援課	児童センター活動の実施	A1	A1	→	新型コロナウイルス感染 症の影響で行動が制限さ れる中でも、工作などで できることを工夫ながら実 施することができた。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
289	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	⑤学校、家 庭、地域社会 との連携	学校教育課	人権・同和教育研修会等による啓発	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染 症により未実施。	新型コロナが5類に移行 したことから、感染に注意 しながら事業を実施す る。
290	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	⑤学校、家 庭、地域社会 との連携	学校教育課	校内PTA、人権・同和教育研修会の実 施	A2	A3	↓	新型コロナウイルス感染 症により未実施。	新型コロナが5類に移行 したことから、感染に注意 しながら事業を実施す る。
291	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(2)学校教育における人権・ 同和教育の推進	⑤学校、家 庭、地域社会 との連携	生涯学習課	地区巡回講座、なるほど！ザ・じんけん ゼミナール、輝く女性のための心のセミ ナーなどの実施	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、 平常時に比べ小規模実 施に留まった。 ・地区巡回講座 31回 ・なるほど！ザ・じんけん ゼミナール 2回	開催予定回数は平常時 並みであり、感染症が収 束すればA1評価に復帰 する見込み。
292	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	まちづくり課	出前講座事業の推進	A2	A2	→	まちづくり出前講座を、市 広報、ホームページ、 ケーブルテレビで紹介。 出前講座149回(うち人権 関係54回・1584人)	コロナが5類感染症になっ たことで、講座の開催が 増加するものと思われる。 引き続き周知をしてい く。
293	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	人権・同和对策課	人権擁護委員の活動充実助成	A1	A1	→	伊万里人権擁護委員協 議会へ負担金を支出して いる。また、協議会との協 働で、人権週間に市民図 書館でパネル展を、12月 2日に伊万里駅周辺等で 街頭啓発活動を実施し た。	継続して実施する。
294	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	健康づくり課	妊娠や育児等に関する教室の開催	A1	A1	→	・妊婦わくわくクラブ 開催回数4回 参加者数 53人	開催回数を増やし、少人 数の予約制で実施する。
295	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	人権・同和教育指導員の人選	A1	A1	→	定員4人を確保した。	継続して実施する。
296	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	地区巡回講座の実施	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、 平常時に比べ小規模実 施に留まった。 ・31回	開催予定回数は平常時 並みであり、感染症が収 束すればA1評価に復帰 する見込み。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
297	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	国、県主催の研修会、講習会参加による社会教育指導員資質の向上	A1	A1	→	県や関係団体が主催する研修会等へ指導員を積極的に参加させた。 ・20回	継続して実施する。
298	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	公民館主催事業等とおした学習情報の提供	A2	A2	→	区長会、各種団体の会議や講座等で情報提供を行った。	継続して実施する。
299	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	職場における人権・同和問題研修の支援	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、平常時に比べ小規模実施に留まったが、実施予定事業所は前年度を上回った。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
300	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	①推進体制の 拡充	生涯学習課	異学年間の交流や、自然の中での共同生活体験による研修実施	A3	A3	→	例年、大川町夏休みワイワイキャンプなど野外での団体生活を通して、人権意識の基礎となる「いたわり」「思いやり」「感謝」の気持ちを持った健全な子どもの育成に努めているが、感染症拡大防止のため実施することができなかった。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
301	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	②地域における人権・同和 教育と啓発活 動の推進	生涯学習課	地区巡回講座等における各種資料、パンフレット等の配付により啓発や情報の提供を図る	A1	A1	→	地区巡回講座等で啓発資料を配付し情報の提供を図った。	継続して実施する。
302	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	②地域における人権・同和 教育と啓発活 動の推進	生涯学習課	人権・同和教育推進協議会、人権・同和教育地域推進員の育成	A2	A2	→	感染症拡大防止のため平常に比べ小規模実施に留まった。・なるほど！じんけんゼミナール2回	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
303	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	②地域における人権・同和 教育と啓発活 動の推進	生涯学習課	学校、各種関係機関、団体及び地域推進員と連携した啓発活動の推進	A1	A1	→	12月の人権週間にあわせ小中学校との協働で児童・生徒の人権作品展を開催した。	継続して実施する。
304	12 あらゆる場 における人権・ 同和教育と啓 発活動の推進	(3)社会教育における人権・ 同和教育と啓発活動の推 進	②地域における人権・同和 教育と啓発活 動の推進	生涯学習課	地区巡回講座の充実による啓発促進	A2	A2	→	感染症拡大防止のため平常にと比べ小規模実施に留まった。 ・地区巡回講座 31回	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
305	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	③地域における指導者の育成	生涯学習課	なるほど！ザ・じんけんセミナーの開設 先進地視察	A2	A2	→	感染症拡大防止のため平常に比べ小規模実施に留まった。 ・なるほど！じんけんセミナー 2回	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
306	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	③地域における指導者の育成	生涯学習課	輝く女性のための心のセミナーの開設	A3	A3	→	感染症拡大防止のため開設を見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
307	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	④社会教育関係団体における人権・同和教育と啓発活動の推進	生涯学習課	小中学校連合PTA、文化連盟など社会教育関係団体における自主的な学習活動を奨励・支援し人権教育の充実を図る	A2	A2	→	感染症拡大防止のため小規模実施に留まった。 ・小中学校PTA 12回 ・市連リーダー 2回 ・幼稚園保護者会 2件	開催予定回数は平常時並みであり、感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
308	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	④社会教育関係団体における人権・同和教育と啓発活動の推進	生涯学習課	各種イベント、講演会開催をととした学習機会の提供	A2	A2	→	感染症対策や人数制限を行い8月30日に同和問題講演会を実施した。 参加者160人	感染症が収束すれば、A1評価に復帰する見込み。
309	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑤人権問題に関する市民意識調査の実施	生涯学習課	5年毎に実施	D	D		令和2年度に実施した。 次回実施予定は令和7年度	
310	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	人権・同和对策課	市広報紙や公民館報による人権週間の周知徹底	A1	A1	→	市広報12月号及びコミュニティセンターで発行する情報誌12月号に掲載し、人権週間の周知徹底を図った。	継続して実施する。
311	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	人権・同和对策課	啓発用のぼり旗・マグネットステッカー等の作成	A1	A2	↓	のぼり旗等の不足はなく令和4年度は新たに作成はしなかったが、既存ののぼり旗等を同和問題強調月間や人権週間に掲示して周知・啓発に活用した。	継続して実施する。
312	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	人権・同和对策課	同和問題啓発パネル展、人権問題啓発街頭キャンペーンの実施	A1	A1	→	同和問題強調月間や人権週間にあわせて、市民ロビーや市民図書館でパネル展を実施し市民への啓発を行った。また、12月2日に伊万里人権擁護委員協議会との協働で、伊万里駅周辺等で街頭啓発活動を実施した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
313	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	人権・同和对策課	「伊万里市人権教育・啓発基本方針」の策定	D	D		「伊万里市人権教育・啓発基本方針」の改定年度でなかった。	
314	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	市広報紙への同和問題講演会の掲載	A1	A1	→	広報伊万里8月号に掲載し周知を図った。また同和問題講演会については感染症対策を行い実施した。	継続して実施する。
315	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	CATV等マスメディアを活用した啓発	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画をケーブルテレビで放送した。 ・年間 2回	継続して実施する。
316	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	市のホームページを活用した情報提供	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画をホームページで配信した。 ・年間 4回	継続して実施する。
317	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	運動体からの講師招へい	A2	A2	→	感染症拡大防止のため外部からの講師招聘は見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
318	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	市・県保有の啓発用映画、ビデオ等の提供	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画「月刊じんけんかわらばん」をYouTubeで配信した。 ・年間 4回	継続して実施する。
319	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	同和問題講演会の開催	A2	A2	→	感染症対策や人数制限を行い同和問題講演会を実施した。 参加者160人	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
320	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	人権週間における児童生徒の人権作品展を開催	A1	A1	→	12月の人権週間にあわせ小中学校との協働で児童・生徒の人権作品展を開催した。	継続して実施する。
321	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	同和問題啓発パネル展、人権問題啓発街頭キャンペーンの実施	A2	A2	→	同和問題講演会で人権標語入りオリジナル啓発グッズの配付と、啓発パネル展を行った。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
322	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)社会教育における人権・同和教育と啓発活動の推進	⑥その他	生涯学習課	人権宣言の意義の積極的な広報と多角的な情報の提供	A2	A2	→	世界人権宣言について地区巡回講座等を通じて啓発を行った。	継続して実施する。
323	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)企業における人権・同和教育と啓発活動の推進	①公正採用選考の確立に向けた取組	生涯学習課	公正採用選考人権啓発推進員との連携による研修の充実	A2	A2	→	感染症拡大予防のため推進員との十分な連携を図ることができなかった。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
324	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)企業における人権・同和教育と啓発活動の推進	②職場における人権課題の解決に向けた取組	生涯学習課	事業主への啓発・研修の取組の働きかけ	A2	A2	→	感染症が及ぼす企業活動への影響に配慮し、平常時に行っているDM送付等の主体的な研修実施へ向けた営業支援は見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
325	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)企業における人権・同和教育と啓発活動の推進	②職場における人権課題の解決に向けた取組	生涯学習課	研修会への講師の派遣など指導・支援	A2	A2	→	感染症拡大防止のため、平常時に比べ小規模実施に留まったが、実施予定事業所は前年度を上回った。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
326	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(5)人権・同和教育関係者の連携強化		人権・同和対策課	人権の花運動の実施	A1	A1	→	人権の花運動を山代西小学校児童を対象に実施し、6月に花苗の贈呈式、11月に観賞会を開催した。	伊万里・有田地区で実施しており、令和5年度は有田町の大山小学校で開催されるため、伊万里市での開催はない。
327	12 あらゆる場における人権・同和教育と啓発活動の推進	(5)人権・同和教育関係者の連携強化		生涯学習課	佐賀県人権・同和教育研究協議会との連携強化	A1	A1	→	人権・同和教育係長を「研究局員」などの要職に派遣するなど緊密な連携を図った。	継続して実施する。
328	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(1)市職員等		総務課	新採・初級職員研修、中堅職員研修、幹部職員研修などの機会をとらえて人権・同和问题研修の実施 その他、同和问题講演会や各種研修会に職員を派遣	A1	A1	→	市による研修会の開催、他団体による研修会への派遣等、延べ861人の職員が12回の人権・同和教育に関する研修会に参加し、人権・同和问题について理解を深めた。	継続して実施する。
329	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(2)教職員等		学校教育課	人権・同和教育研究の実施	A1	A1	→	人権・同和教育研究指定校を中心として、研究を実施している。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
330	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(2)教職員等		学校教育課	人権・同和教育研究校への同和教育担当者の配置	A1	A1	→	人権・同和教育研究指定校への同和教育担当者を配置した。	継続して実施する。
331	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(2)教職員等		学校教育課	小学校2校、中学校1校への児童・生徒支援教員の配置	A1	A1	→	小学校2校、中学校1校への児童・生徒支援教員の配置を行った。	継続して実施する。
332	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(3)社会教育関係者		生涯学習課	社会教育関係者の職務に応じた人権感覚を養うための研修の実施	A2	A3	↓	同和問題解決の拠点施設である隣保館及び同和教育集会所における関係職員の研修を予定していたが、感染症拡大防止のため実施を見合わせた。	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
333	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(4)福祉関係者		長寿社会課	福祉関係従事者の各種人権関係研修への参加促進	A3	A2	↑	高齢者に関わる関係機関の関係者が参加するコミュニティケア会議(R4/7/20)において、人権擁護に関するチラシを配布し人権教育の推進を行った。	福祉関係者は業務に関する研修が多く、人権関係研修への参加促進は難しい。
334	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(4)福祉関係者		長寿社会課	委員や施設職員に対する委嘱・採用時の研修	A3	A3	→	市独自での研修実績はなかった。	R5年度以降に新たに委嘱を行うタイミングで実施を検討したい。
335	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(4)福祉関係者		生涯学習課	研修会への講師の派遣など指導・支援	A2	A2	→	民生委員・児童委員協議会が行う研修会に指導員を派遣したが、感染症拡大防止のため平常時に比べ小規模実施に留まった。	開催予定回数は平常時並みであり、感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
336	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(5)医療・保健関係者		健康づくり課	医療・保健関係者の各種人権研修への参加促進	B	B		医療・保健関係者への研修は実施できなかった。	今後機会を捉えて実施予定。
337	13 特定の職業に従事する者に対する人権・同和教育の推進	(5)医療・保健関係者		生涯学習課	研修会への講師の派遣など指導・支援	A3	A3	→	医療・保険関係者への学習支援については、感染症による負担増を勘案し見合わせている。	感染症が収束すれば評価向上の見込み。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
338	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	企画政策課	男女協働参画に関する研修会や講習 会等への積極的な参加の促進	A1	A1	→	フォーラムやセミナー、出 前講座の開催(8回)	継続して実施する。
339	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	人権・同和对策課	女性、子ども、高齢者、障害者などの問 題に関する市内外の研修会・講習会等 への積極的な参加促進	A2	A2	→	研修会、講習会の開催通 知を受けた際には、職員 に呼びかけ積極的に参 加している。	継続して実施する。
340	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	生涯学習課	指導員等の資質の向上	A1	A1	→	平常時と比べ機会は減少 したものの、県や関係団 体が行う研修に指導員を 参加させたほか、主体的 なスキルアップ研修も 行った。 ・研修会への参加 22回 ・スキルアップ研修実施 3回	継続して実施する。
341	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	生涯学習課	女性、子ども、高齢者、障害者などの問 題に関する市内外の研修会・講習会等 への積極的な参加促進	A2	A3	↓	地域における指導者(人 権・同和教育推進協議会 員、人権・同和教育地域 推進員)を対象とした研 修については、感染症拡 大防止のため見合わせ た。	感染症が収束すれば評 価向上の見込み。
342	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	生涯学習課	地域・職場における教育・啓発の指導・ 支援	A1	A1	→	地区巡回講座や企業研 修については、感染症拡 大防止のため平常時と比 べ小規模実施に留まった が、市職員出演・制作の オリジナル啓発動画を ケーブルテレビやユー チューブで配信し啓発の 裾野を広げた。	継続して実施する。
343	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	①指導者の育 成	生涯学習課	なるほど！ザ・じんけんゼミナール、輝く 女性のための心のセミナーの開催	A2	A2	→	感染症拡大防止のため 平常時と比べ小規模実 施に留まったが。 ・なるほど！ザ・じんけん ゼミナール 2回	開催予定回数は平常時 並みであり、感染症が収 束すればA1評価に復帰 する見込み。
344	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(1)人材の育成と活用	②人材の活用	生涯学習課	人権・同和教育地域推進員の地域巡回 講座への参加促進	A3	A3	→	地域推進員の地区巡回 講座への参加は一部に 留まった。積極的な参加 促進を促したい。	感染の恐れもあるため、 地域推進員の意志を尊 重した。感染症が収束す れば積極的な参加促進を 促したい。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
345	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(2)情報提供の充実・強化		人権・同和対策課	市広報紙、チラシ、パンフレット、ポスターなど印刷物による啓発やマスメディアやSNS等を活用した啓発	A1	A1	→	様々な人権問題について広報紙、印刷物等を活用し啓発を行った。また、人権啓発番組「ハートフルタイム2022」を制作し、市内ケーブルテレビで放映した。	継続して実施する。 なお、人権啓発番組「ハートフルタイム」は、コロナ前と同じく参集型の「ハートフルフォーラム」とする予定。
346	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(2)情報提供の充実・強化		生涯学習課	テレビ、映画、ビデオなど、その目的に応じて媒体を活用した効果的な啓発の促進	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画をケーブルテレビやYouTubeで配信し啓発を行った。	継続して実施する。
347	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(2)情報提供の充実・強化		生涯学習課	市のホームページで啓発	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画をホームページで配信し啓発を行った。	継続して実施する。
348	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(2)情報提供の充実・強化		生涯学習課	市広報紙、パンフレット、チラシ、ポスター、イラスト、漫画、詩など、特性を活かした新しい啓発手法の開発	A1	A1	→	市職員出演・制作によるオリジナル啓発動画をケーブルテレビやYouTubeで配信するなど新たな手法の啓発を実践した。	継続して実施する。
349	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)参加しやすい人権啓発イベントの開催		人権・同和対策課	ハートフルフォーラムの開催	A1	A1	→	新型コロナの影響により、参集型の「ハートフルフォーラム」に代えて、人権啓発番組「ハートフルタイム2022」を制作し、市内ケーブルテレビで放映した。	新型コロナが5類に移行したことから、令和5年度は、参集型の「ハートフルフォーラム」を開催する予定。
350	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)参加しやすい人権啓発イベントの開催		生涯学習課	同和問題講演会の開催	A2	A2	→	感染症対策や人数制限を行い同和問題講演会を実施した。 参加者160人	感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
351	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(3)参加しやすい人権啓発イベントの開催		生涯学習課	詩の朗読、資料展示、アトラクション等の導入	A1	A1	→	地区巡回講座などにおいて、トンテントンの太鼓演奏や講談を取り入れたアトラクションや、人権をテーマに執筆したオリジナルの詩を朗読するなど、新たな手法の啓発を展開した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
352	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	学校保管の資料集活用(道徳の時間等)	A1	A1	→	学校保管の資料集を活用した。	継続して実施する。
353	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	実践事例集の作成	A1	A1	→	人権・同和教育の研究を行うとともに、実践事例集の作成を行った。	継続して実施する。
354	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	6年担任と中学校社会科担当の研修会で検討 (発達段階に応じた指導資料の開発、指導方法の改善)	A1	A1	→	人権・同和教育の研究を行うとともに、情報共有を行い、発達段階に応じた資料の作成を行った。	継続して実施する。
355	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	6年担任と中学校社会科担当の研修会で検討 (参加体験型の学習教材の制作、及び情報の提供)	A1	A1	→	新型コロナの感染拡大防止のため、オンラインで開催するなどの工夫しながら研修会を行った。	新型コロナが5類に移行したことから、感染に注意しながら事業を実施する。
356	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	各学校の人権同和教育担当を中心に児童生徒の発達段階に応じた人権に関する教育計画の作成、実施	A1	A1	→	各学校の人権同和教育担当を中心に児童生徒の発達段階に応じた人権に関する教育計画の作成、実施を行った。	継続して実施する。
357	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	各学校の人権同和教育担当を中心に「差別をしない、負けない、許さない」態度が身につくような教育内容の計画実施	A1	A1	→	各学校の人権同和教育担当を中心に「差別をしない、負けない、許さない」態度が身につくような教育内容の計画と実施を図った。	継続して実施する。
358	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		学校教育課	各学校の人権同和担当を中心に参加・体験型等による効果的な学習計画実施	A1	A1	→	各学校の人権同和担当を中心に参加・体験型等による効果的な学習計画を実施した。	継続して実施する。
359	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	県所有の資料活用	A1	A1	→	県所有の視聴覚教材を教材研究に活用した。	継続して実施する。
360	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	新しいパンフレット等の作成	A1	A1	→	市職員出演・制作のオリジナル啓発動画を活用したデジタル教材を作成し活用した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
361	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	市民のニーズに応じた教材の開発	A1	A1	→	市職員出演・制作のオリジナル啓発動画を活用したデジタル教材を作成し活用した。	継続して実施する。
362	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	参加体験型の学習教材の制作、及び情報の提供	A1	A1	→	市職員出演・制作のオリジナル啓発動画を活用したデジタル教材を作成し関係者に送付した。	継続して実施する。
363	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	公民館等における体験学習事業の展開	A2	A2	→	地区人権・同和教育推進協議会(事務局:地区C C)において「部落差別の現実に学ぶ」ことに重点を置いた視察研修が計画的に実施されている。	継続して実施する。
364	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	人権教育を進める組織・団体との連携による効果的な学習プログラムの開発	A1	A1	→	部落解放同盟、全日本同和会の助言を得ながら、オリジナル啓発動画を制作し、これを活用したデジタル教材を作成した。	継続して実施する。
365	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(4)教材・学習プログラムの開発		生涯学習課	企業・職場内教育・研修における職務や職階に応じた体系的な学習プログラムの整備・充実	A2	A2	→	企業向けの体系的な学習プログラムについては、先進地である福岡市企業同和問題推進協議会から入手したノウハウを活用している。	継続して実施する。
366	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(5)啓発団体等との連携		人権・同和对策課	様々な啓発団体や社会教育関係団体との連携促進	A2	A2	→	審議会、同推協、人権擁護委員協議会、公正採用選人権啓発推進連絡協議会など各種団体等との連携を図っている。	今後も連携を図っていく。
367	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(5)啓発団体等との連携		生涯学習課	人権・同和教育推進協議会等の啓発団体や社会教育関係団体との連携促進	A1	A1	→	本市人権・同和行政は半世紀に及ぶ「市人権・同和教育推進協議会」との協働で推進しており、県のトップランナーと評価を受けている。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前 年 動 向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
368	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(5)啓発団体等との連携		生涯学習課	企業や民間の各種団体等への人権教育・啓発の呼びかけ	A2	A2	→	企業に対する主体的な取り組みについては「職場を社会教育のステージ」と位置付けて営業を行っているが、感染症が及ぼす企業活動への影響に配慮し十分とは言えなかった。	感染の恐れもあるため、企業の意志を尊重した。感染症が収束すれば積極的な参加促進を促したい。
369	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(5)啓発団体等との連携		生涯学習課	適切な助言や情報の提供	A1	A1	→	啓発団体に対しては、職員出演・制作のオリジナル啓発動画を活用したデジタル教材を配付した。	継続して実施する。
370	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(5)啓発団体等との連携		生涯学習課	区長会、子ども会等との連携	A2	A2	→	関係団体と協働の研修事業については平常時と比べ小規模実施に留まった。 ・PTA等 14回 ・区長会 1回	開催予定回数は平常時並みであり、感染症が収束すればA1評価に復帰する見込み。
371	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(6)子どもの目線を基調とした人権・同和教育と啓発活動の推進		人権・同和对策課	「全国中学生人権作文コンテスト」の実施への協力	A2	A2	→	人権擁護委員協議会と連携し、「全国中学生人権作文コンテスト佐賀県大会」の実施に取り組み、伊万里・有田地区の全中学校9校から1,807の応募があった。	継続して協力する。
372	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(6)子どもの目線を基調とした人権・同和教育と啓発活動の推進		生涯学習課	人権週間における児童生徒の人権作品展を開催	A1	A1	→	12月の人権週間にあわせ小中学校との協働で児童・生徒の人権作品展を開催した。	継続して実施する。
373	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	まちづくり課	市民相談業務における連携強化	A1	A1	→	相談内容により、担当課や該当機関につなげ、問題解決に努めた。	相談内容を十分に聞き取り、相談者のニーズにあった適切な相談窓口に繋げる必要がある。
374	14 効果的な 人権・同和教育と啓発活動 の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	まちづくり課	市民相談業務の実施	A1	A1	→	市民相談事業の中で、人権擁護委員による人権相談を月約2回実施し、2件の相談に応じた。相談内容により、相談者の気持ちに寄り添い、不安解消と適切なアドバイスを行った。	相談担当職員のスキルアップが必要である。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
375	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	福祉課	民生委員・児童委員、家庭児童相談室等との連携	A1	A1	→	地区民児協での人権同和研修を実施 (R3:2地区 参加者数41名、R2:1地区 参加者13名) ・主任児童委員部会での研修を年1回実施(参加者22名)	継続して研修を実施する。
376	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	人権・同和対策課	人権擁護委員の活動、人権相談事業の充実	A2	A2	→	人権擁護委員協議会と連携し、相談事業の充実を図った。	継続して実施する。
377	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	人権・同和対策課	人権擁護委員との連携、人権週間キャンペーンの実施 人権相談業務の周知	A1	A1	→	特設人権相談の市広報、コミュニティセンターで発行する情報誌掲載など、人権擁護委員協議会と連携し、相談業務の周知を図った。	継続して実施する。
378	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	人権・同和対策課	人権擁護委員による相談日の設置と市民への周知	A1	A1	→	市庁舎やコミュニティセンターに特設相談所を開設し、相談業務を行った。開設に先立ち、市広報やコミュニティセンターで発行する情報誌で事前告知を行った。	継続して実施する。
379	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	①専門的な相談機関との連携	人権・同和対策課	法務局等との連携による人権相談業務(常設)、特設人権相談所開設支援	A1	A1	→	市役所での特設相談を22回、コミュニティセンターでの特設相談を8回、計30回実施し、事前告知を市広報やコミュニティセンターで発行する情報誌で行った。	継続して実施する。
380	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	②相談機関のネットワークづくり	まちづくり課	市民相談業務の充実と各機関との連携	A1	A1	→	相談内容により、担当課や該当機関につなげ、問題解決に努めた。	相談時間が限られているため、相談者へ事前の適切な説明と案内が必要である。(予約の際に丁寧に説明する等)
381	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	②相談機関のネットワークづくり	人権・同和対策課	相談窓口担当課との連携強化および相談員等の研修参加促進	A2	A2	→	相談内容によって関係各課と連携をとっている。また、相談業務に係る専門的な研修に積極的に参加した。	継続して実施する。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度評価	R4年度評価	対前年動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参加者数、前年度との相違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの実績を踏まえての今後の課題等)
382	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	③アウトリーチの取組	隣保館	一人暮らしの高齢者を対象とした個別訪問による日常生活や地域の相談・支援体制の充実	A1	A1	→	○巡回相談の実施 期日：毎週水曜日 回数：49回 延べ人数：81人	継続して実施する。
383	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	④その他	まちづくり課	弁護士、人権擁護委員と連携した人権相談業務についての市民への周知	A1	A1	→	市広報紙等を用いて人権相談業務の周知(毎月2回開催、6月1日は人権擁護委員の日)を図った。	継続して周知を行う。
384	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	④その他	まちづくり課	相談業務紹介パンフレットの配置 市広報紙、ケーブルテレビ等を用いた事業の周知	A1	A1	→	市広報紙、CATV等を用いて事業の周知を図った。	継続して周知を行う。
385	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	④その他	人権・同和対策課	市広報紙、ホームページ等による周知	A1	A1	→	特設人権相談や子どもの人権110番、女性の人権ホットラインなどの相談を市広報やホームページ等で周知した。	継続して実施する。
386	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	④その他	福祉課	自殺対策基本計画に沿った事業の実施	A1	A1	→	令和元年5月に策定した伊万里市自殺対策計画に基づき、自殺対策を推進した。	継続して実施する。
387	14 効果的な人権・同和教育と啓発活動の推進	(7)相談・支援体制の充実	④その他	福祉課	人権問題に関する研修会への参加	A1	A1	→	R4も前年同様、コロナ禍により、研修等の開催は少なかったが、講演会と動画視聴による研修に参加した。	積極的に研修等へ参加を行う。
388	15 本市における計画の推進	(1)推進体制		人権・同和対策課	推進本部を核とした各部署間の連携	A2	A2	→	平成19年度から推進本部組織を整備し、本部、幹事会、ワーキンググループの位置づけを行い、連携を図っている。	継続して実施する。
389	15 本市における計画の推進	(1)推進体制		人権・同和対策課	推進計画の趣旨及び内容の徹底	A2	A2	→	ホームページに計画書を掲載するとともに、本部・幹事会合同会議や審議会で周知を図った。	継続して実施する。
390	15 本市における計画の推進	(1)推進体制		人権・同和対策課	ワーキング部会の機能充実	A3	A3	→	現在、ワーキンググループは設置していない。	必要に応じてワーキンググループを設置するとともに、ワーキング部員の資質向上を図っていく。

4. 個別評価

No.	施策の分野	施策の内容	施策の項目	担当課	具体的実施業務・事業名等	R3年度 評価	R4年度 評価	対 前年 動向	R4年度の実績 (事業の実施回数・参 加者数、前年度との相 違点等)	今後の課題 (R4年度やこれまでの 実績を踏まえての今後 の課題等)
391	15 本市にお ける計画の推 進	(2)国・県・他の市町及び関 係団体等との連携		人権・同和対策課	佐賀県同和対策推進連絡協議会との 連携	A1	A1	→	佐賀県同和対策推進連 絡協議会(同対協)にお いて、様々な議題を協議 するとともに、県や同対協 7市と情報交換を行った。	継続して実施する。
392	15 本市にお ける計画の推 進	(2)国・県・他の市町及び関 係団体等との連携		人権・同和対策課	各種の啓発団体、社会教育関係団体 等との連携	A1	A1	→	教育委員会事務局に働 きかけて、市同推協や各 町同推協などと連携を 図った。	継続して実施する。
393	15 本市にお ける計画の推 進	(2)国・県・他の市町及び関 係団体等との連携		生涯学習課	各種の啓発団体、社会教育関係団体 等との連携	A1	A1	→	各種関係団体と良好な関 係を構築し協働による住 民啓発を展開している。	継続して実施する。
394	15 本市にお ける計画の推 進	(3)評価と見直し		人権・同和対策課	状況と効果について年度末評価と公表	A1	A1	→	前年度の実績評価を行 い、その結果を各課に配 布して推進本部会議に諮 り、審議会で報告した。	継続して実施する。
395	15 本市にお ける計画の推 進	(3)評価と見直し		人権・同和対策課	社会状況の変化や必要に応じた見直し	A1	A1	→	全体的な見直しは毎年行 わないが、追加すべき具 体的施策が生じた場合 は、新たな評価項目とし て取り入れている。	継続して実施する。